

平成27年度 議会報告会結果報告書



栃木市議会
議会報告会運営委員会

報告書目次

1. 開催概要	
(1) 開催結果	1
(2) 班編成	2
(3) 報告会内容	3
2. 議会報告に対する質疑と回答	4
3. フリートークの概要	1 1
4. 市民から出された要望	
(1) 議会報告会に対する要望	1 2
(2) 議会に対する要望	1 2
(3) 市執行部に対する要望	
①総合政策部関係	1 3
②総務部関係	1 3
③理財部関係	1 4
④生活環境部関係	1 4
⑤保健福祉部関係	1 5
⑥産業振興部関係	1 6
⑦建設水道部関係	1 7
⑧都市整備部関係	1 8
⑨教育委員会関係	1 8
⑩消防本部関係	1 9
⑪選挙管理委員会関係	1 9
5. アンケート結果	
(1) 議員アンケート	2 0
(2) 市民アンケート	2 4
6. 平成28年度議会報告会への提言	2 7
7. 参考資料	
・議会報告会運営委員会の設置	2 9
・議会報告会運営委員会開催状況	3 1
・平成27年度栃木市議会報告会開催要領	3 2
・平成27年度議会報告資料	3 4
・フリートークにおける主な意見、要望及び回答	4 5

1. 開催概要

(1) 開催結果

開催日	開催場所	担当班	開催時間	参加者数
10月27日 (火)	小野寺地区公民館	1班	18:30～20:12	27
	寺尾公民館	2班	18:30～20:10	23
10月28日 (水)	大平西地区公民館	3班	18:30～19:55	30
	第4地区コミュニティセンター	5班	18:30～20:24	21
10月29日 (木)	大平東地区公民館	3班	18:30～19:50	24
	吹上公民館	4班	18:30～20:16	65
11月4日 (水)	静和地区公民館	2班	18:30～20:05	12
	大宮公民館	1班	18:30～20:09	18
11月5日 (木)	岩舟公民館	1班	18:30～20:00	16
	国府公民館	4班	18:30～20:16	30
11月6日 (金)	大平南地区公民館	2班	18:30～20:05	17
	第5地区コミュニティセンター	5班	18:30～20:16	37
11月11日 (水)	藤岡遊水池会館	5班	18:30～19:57	26
	都賀公民館	4班	18:30～20:00	18
11月12日 (木)	赤麻地区公民館	5班	18:30～19:55	10
	赤津小学校体育館	4班	18:30～19:56	46
11月17日 (火)	皆川公民館	1班	18:30～20:18	45
	真名子夢ホール	3班	18:30～19:50	32
11月20日 (金)	西方公民館	3班	18:30～20:05	38
	合 計			535

※過去の一般参加者数

平成25年度・・・・・・235名

平成26年度・・・・・・459名

(2) 班編成

班 名	氏 名	班 名	氏 名
1 班	大 谷 好 一	2 班	茂 呂 健 市
	青 木 一 男		広 瀬 昌 子
	針 谷 育 造		白 石 幹 男
	松 本 喜 一		千 葉 正 弘
	大阿久 岩 人		永 田 武 志
	入 野 登志子		岡 賢 治
	大 武 真 一		小 堀 良 江
3 班	小久保 かおる	4 班	渡 辺 照 明
	針 谷 正 夫		氏 家 晃
	大 出 三 夫		大 川 秀 子
	天 谷 浩 明		長 芳 孝
	広 瀬 義 明		海老原 恵 子
	高 岩 義 祐		中 島 克 訓
	福 田 裕 司		
5 班	坂 東 一 敏		
	古 沢 ちい子		
	関 口 孫一郎		
	平 池 紘 士		
	福 富 善 明		
	梅 澤 米 満		

(議席番号順)

(3) 報告会内容

報告会は、報告報告 20 分、質疑応答 10 分を第 1 部とし、フリーストーク 45 分、まとめとしてグループごとの発表を 10 分を第 2 部とし、あわせて 1 時間 30 分程度の会議を基本とする。

(1) 開会 (司会が行う)

(2) あいさつ (班長が行う)

出席者自己紹介

《第 1 部》

(3) 議会報告 (20 分) (班の報告者により行う)

① 9 月定例会について

② 議会基本条例の検証及び議会改革について

③ とちぎメディカルセンターについて

(4) 報告に対する質疑 (10 分)

《第 2 部》

(5) フリーストーク (45 分)

1 グループ 10 人程度を目安とし、参加人数に応じて臨機応変にグループ分けを行い、テーマを決めず参加者と議員が自由に意見交換を行う。(議員は各グループに 2 人ずつ入り、進行役と書記を行う、最後にグループで出た意見を発表する。)

(6) まとめ (10 分) (最後にグループで出た意見を発表する。)

(7) 閉会 (司会が行う)



2. 議会報告に対する質疑と回答

○小野寺地区公民館 10月27日（火）

9月定例会について

Q 今回の豪雨災害において小野寺北小の防災無線が、機能しなかった。

設置場所が良くない。聞こえなかった。
設置場所の検討をお願いします。

A よく検討するように執行部へ伝える。

Q 地域の農家、農業を守って育てる農業

経営の指導をお願いします。さらに、若い人の働く場所が少ない。どうするのか。

A 各種補助金等が出るように議会としても考えていきたい。

また、働く場所の確保が必要なので市は産業団地を造成し、企業誘致に力を入れている。

現に、千塚町上川原に約40ヘクタールの産業団地を造成中である。

さらに、大学生への奨学金制度の充実に取り組んでいる。

Q 小野寺北小の保存について、約4,000万円の補助金がついたが、どのように保存していくのか。

A 明治27年建築の古い校舎で、執行部は一部部材の保存を考えている。11月11日には、担当課から地域の方々に説明がされると聞いている。

とちぎメディカルセンターについて

Q 母親を特養に入所させたくて、佐野市から栃木市に引っ越してきた。介護老人保健施設への入所申し込みを2カ所しているがなかなか入所が出来ない。なんとかならないか。

A 担当の地域包括ケアマネージャーに相談されたい。

○寺尾公民館 10月27日（火）

とちぎメディカルセンターについて

Q 下都賀病院の跡地はどうなるのか。

A 現時点において具体的な話は伺っていない。

○大平西地区公民館 10月28日（水）

議会基本条例の検証及び議会改革について

Q 大平以外の議員に来て欲しい。去年と同じ顔ぶれ、大平地域の議員は一人で良い。



また、今の議員報酬は低い、定数を減らすかわりに報酬を増やすべき。また、政務活動費はなくすべき。

とちぎメディカルセンターについて

Q 医師の確保は。

A 産科については医師の確保が難しいと聞いている。

○第4地区コミュニティセンター 10月28日（水）

9月定例会について

Q 一般質問について、重複質問が多いがどのように対応しているのか。

A 定例会のおおよそ10日前までに通告受付を行い、重複についての調整をしている。

とちぎメディカルセンターについて

Q 産婦人科設置について。

A 議会でも要望しているが大学の産婦人科の研修医が少ないため医師の確保を要望する。

Q 市内に口腔外科がないので、設置を要望する。

A 歯科（口腔外科）の設置をメディカルセンターに要望する。



○大平東地区公民館 10月29日（木）

9月定例会について

Q 国民健康保険税の収納率と収納率向上策について伺う。

A 収納率は86%～88.5%である。市は収納員を配置して、収納率向上に努めている。

議会基本条例の検証及び議会改革について

Q 一般質問において、質問内容が同一会派内でも重複している場合がある。代表質問制を考えてはどうか。

A 重複しないように当事者で相談している。重複していても、質問の切り口を変えている。

代表質問についても考えていきたい。

とちぎメディカルセンターについて

Q メディカルセンターしもつがは、小児科の救急外来にこたえてほしい。

A その通りである。

○吹上公民館 10月29日（木）

とちぎメディカルセンターについて

Q 救急を3病院で行っていたのが、しもつがのみとなる。24時間体制の救急ができるようにしっかりチェックして欲しい。

A 先日、議会として現地視察を行った。救急の設備は立派なものが出来上がった。メディカルセンターも救急の24時間体制はしっかり行うと言っているので大丈夫であると思うが、今後しっかりとチェックしていきたい。

○静和地区公民館 11月4日（水）

とちぎメディカルセンターについて

Q とちぎメディカルセンターについて、医師の質の確保が重要だと思う。医師をどこから確保するのか。

A とちぎメディカルセンターの説明では、現在のスタッフでやっていくとのことだが、不足した場合は、独協医大、自治医大から派遣してもらおうと聞いている。

産科については、現在、医師が1名なので分娩までは出来ないとのこと。5～7名いないと無理とのことである。

○大宮公民館 11月4日（水）

9月定例会について

Q 東陽中のグラウンド拡張問題などスピード感をもってやって欲しい。

A 東陽中のグラウンド拡張問題は多くの議員が取り上げている。拡張のための測量は終わっている。拡張用地の買収については地権者との交渉もあり難しいが、市としてもしっかりと進めると思う

とちぎメディカルセンターについて

Q メディカルセンターしもつがは5月開院と聞いているが医師不足の心配がある。多くの医師が獨協医科大学から派遣されているが、市長は獨協医科大学の協力申し入れを断ったと聞いているが本当か。そうであれば間違いだ。小山市民病院は



自治医科大学と連携している。

医師がいなければ病院は成り立たない。新しもつがは、透析は行うのか、診療科目にないが。

A そのような噂があるが、噂に対するコメントは出来ない。現在39名の医師がおり千葉大学が中心と聞いている。医師不足の件は議会も心配している。医師の皆さんに住みよい街と思われる必要がある。

新しもつがにおいても、透析センターは備えている。

○岩舟公民館 11月5日（木）

9月定例会について

Q 合併後ふれあいバスが通るようになったので便利である。しかし、乗客が少なく心配している。PR不足ではないか。

A さらにふれあいバス利用のPRを行うように執行部に伝える。

Q ふれあいバスの料金が安い。栃木駅まで行くと300円になる。値下げを検討して欲しい。

○国府公民館 11月5日（木）

9月定例会について

Q 栃木中央小が避難場所になっていたが、その周辺が浸水した場合は、避難場所は代えるのか。防災マップは、地域をわかっている人が作った方が良くないか。

A そのような場合はその都度避難所を変更する。
防災マップの見直しも必要だと思う。

○大平南地区公民館 11月6日（金）

9月定例会について

Q 議会では、意見書を提出した後の対応をお聞きしたい。

A 国等の関係機関へ提出している。陳情者には審議結果を報告している。

議会基本条例の検証及び議会改革について

Q 正副議長等が一般質問をできないのはおかしい。市民に理解されないのでは。

A 質問をしないという慣例はあるが、過去には質問した議員もあり、必ずしも質問してはいけないとはなっていない。

とちぎメディカルセンターについて

Q メディカルセンターには、救急を完全に受け入れる事を要望する。

シニアクラブから市長にも要望したが、高齢者のガン検診等を多少経費がかかっても、

医療機関で出来るように要望する。

Q メディカルセンターには、33億円の補助金が支出されているが、その他にも、用地の提供等に多くの税金が投入されている。地域医療の向上を目指してだと思いが、補助金の交付等目的に違反はないか詳細情報を市民に公開して欲しい。

A 執行部に伝える。

Q 借地使用料の市の負担はどれくらいになるか。

A 借地使用料は、メディカルセンターが支払うため、市の負担はない。

○第5地区コミュニティーセンター 11月6日（金）

とちぎメディカルセンターについて

Q メディカルセンターの愛称はないか。分かりやすい名前はないか。

A 議会に持ち帰り検討する。

Q メディカルセンターしもつが、とちのきどちらも外来診察を行うのか。

A どちらとも行う。

Q メディカルセンターに市から貸与している5億円はどの様になっているか。

A 年度末に5億円は返してもらう。

○藤岡遊水池会館 11月11日（水）

質疑なし



○都賀公民館 11月11日（水）

9月定例会について

Q 予算に占める農政の予算額が県内で13番目である。今年度は11番目になった。小山市に比べると少ない。土地改良の施設も古くなっている。今後どうするのか。

A 旧栃木市時代から感じている。執行部に対して予算の増額を要望する。

○赤麻地区公民館 11月12日（木）

議会基本条例の検証及び議会改革について

Q 正副議長等が一般質問できないのはおかしい。市民に理解されないのでは。

A 正副議長、監査委員はできないが、現在議会改革検討委員会で検討中である。

○赤津小学校体育館 11月12日（木）

9月定例会について

Q 西前原排水機場の復旧工事はどうなっているか。

A 議会としても現地を視察した。復旧に向け着実に進んでいる。

○皆川公民館 11月17日（火）

9月定例会について

Q 災害について、深夜寝ている人々に対する危険の呼びかけはどのように考えているのか。防災ラジオ、緊急メール、FMラジオ等では伝わらないのではないか。

A 屋外の防災無線放送設備を現在各地に建設中です。

防災ラジオについても購入の予定です。これは自動で電源が入るものである。

9月の豪雨災害では、緊急メールの発信もなったので、これから検証しなくてはならない。

Q 深夜に避難したが、避難指示の案内が聞こえなかった。長寿園に行ったが一杯で、西中学校の体育館に避難した。ここでは毛布も足りず、ダンボールも貰えず寒い思いをした。

特に高齢者の方は床の上で大変だった。避難場所には毛布等の準備をして欲しい。

A この件は多くの会場で言われた。今後は毛布等を避難場所に備蓄することも検討する。

Q 避難場所の特別支援学校へは、道路が冠水し車では行けなかった。

避難所の選定の検証が必要である。

A マニュアルを整備して細かく対応していきたい。大雨災害、地震災害を区別した避難対応が求められている。



Q 陳情で35人学級を要請するものがあつたが、反対者が4人いた。その理由をお聞きたい。

A 先生を増員させねばならないことから反対した。

議会基本条例の検証及び議会改革について

Q ケーブルテレビ等による議会中継において、質問者と回答者しか放映されないが、議会全体を映すようにして欲しい。傍聴席からも議員席が見えにくい。

Q 議会改革の進め方でお伺いしたい。一般質問の重複が多いが調整できないか。

A 同一会派の議員は重複をさけるように調整できるが、会派が異なると難しい面がある。
後の質問者が既に答弁をもらった質問は省略していく等、切り口を変えた質問を心がけている。

とちぎメディカルセンターについて

Q メディカルセンター付近の交通事情、駐車場が心配である。

A 東側は道路を拡幅しているが、西側はできていない。駐車場は栃木駅高架下等の利用を検討している。ふれあいバスの利用も考えられる。

Q 救急医療の対応を心配している。3病院が一つになった。医師不足の解消を望みたい。

A 市執行部、メディカルセンターに要望していく。

○真名子夢ホール 11月17日（火）

9月定例会について

Q 真名子の水木地区において急傾斜地の防護壁のない箇所がある。県への要望をお願いしたい。

○西方公民館 11月20日（金）

9月定例会について

Q 陳情の35人学級を反対した議員の反対理由を報告資料に記載してもらいたい。

A 今後、議会報告会運営委員会で検討の参考にしたい。

議会基本条例の検証及び議会改革について

Q 議案書等のホームページにおける公開時期等をお聞きしたい。

A 定例会の初日に市長が議案書及び議案説明書を提案した後ホームページに掲載している。

とちぎメディカルセンターについて

Q メディカルセンターと医師会の関係はどうか。

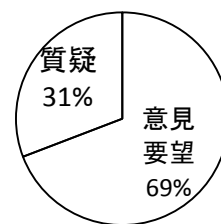
A 問題ないと思う。

3. フリートークの概要

(1) 市民からの発言の内訳

意見（要望）	220件
質疑	98件
計	318件

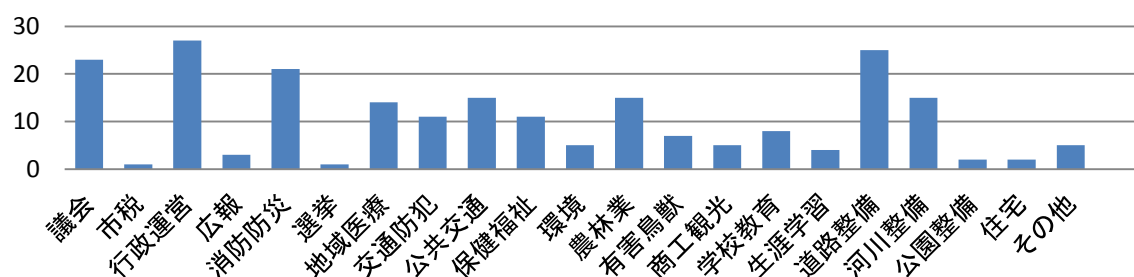
発言の内訳



(2) 意見（要望）の内訳

議会について	23件
市税について	1件
行政運営について	27件
広報について	3件
消防防災について	21件
選挙について	1件
地域医療について	14件
交通防犯について	11件
公共交通について	15件
保健福祉について	11件
環境について	5件
農林業について	15件
有害鳥獣について	7件
商工観光について	5件
学校教育について	8件
生涯学習について	4件
道路整備について	25件
河川整備について	15件
公園整備について	2件
住宅について	2件
その他	5件
計	220件

意見（要望）の内訳



※意見の詳細については参考資料12ページから19ページをご覧ください。

4. フリートークで出された要望

(1) 議会報告会に対する要望

- ・議会報告会の参加者が少ない、年2回開催して欲しい。
- ・議会報告会の周知方法を工夫した方が良い。
- ・陳情に反対した議員の反対意見を報告資料に記載してもらいたい。
- ・議会報告会に地元以外の議員が来てほしい。
- ・議会報告会において、9月定例会以外の定例会も報告すべきである。

(2) 議会に対する要望

○議会運営について

- ・一般質問について、議員間で質問内容の重複が多いが調整が必要ではないか。
- ・電子表決システムは議員の賛否が分かりづらい、以前のように起立採決で良いのではないか。
- ・議会として市政への提案を積極的に行ってほしい。
- ・一つの問題等について研究する特別委員会が必要ではないか。
- ・代表質問制を導入してはどうか。
- ・議会と執行部が馴れ合いになっていないか。
- ・議会改革を積極的に行っていただきたい。

○議会、議員について

- ・議会、議員の熱意が市民に伝わってこない。
- ・議員は、地域の代表ではなく、市全域の代表であると自覚してほしい。
- ・議員個人が報告会を行うべきである。

○議員定数、報酬等について

- ・議員の報酬を増額しないと議員になる人がいなくなる。
- ・定数を削減するべき。
- ・政務活動費を廃止して報酬を増額するべきである。

○その他

- ・議場の傍聴席から議員が見えない。議場のモニターが見づらい。
- ・議場のモニターに、議長、質問者及び答弁者しか映らない、議員席を映していただきたい。
- ・議会だよりをもっと読みやすく改善をお願いしたい。

(3) 市執行部に対する要望

① 総合政策部

○地域活性化について

- ・若い力を使ってまちおこしを行うなどスピーディな活性化が必要である。
- ・人口減少対策として婚活を推進して欲しい。
- ・少子高齢化対策を重点的に取り組んでいただきたい。
- ・人口を増やすため、企業誘致を積極的にお願いしたい。
- ・藤岡地域のまちおこしを考えてほしい。
- ・自治会等で行うイベントに補助金の交付をお願いしたい。

○遊水地について

- ・小山市、野木町と連携して渡良瀬遊水地の利活用を図ってほしい。
- ・渡良瀬遊水地の活性化をお願いしたい。

○地域会議について

- ・地域会議について、大平地域は大き過ぎないか。
- ・地域会議は住民との話し合いが少ない。もっと行うべきである。

○広報について

- ・広報とちぎが大きく綴じづらい。改善をお願いしたい。
- ・自治会長への市からの情報が多く大変である。改善をお願いしたい。
- ・FMくらら難聴地域の解消をお願いしたい。

○その他

- ・マイナンバー制度に関する広報活動を行うべきである。
- ・からくり時計の設置については、経費がかかるので慎重に検討願いたい。
- ・市債に頼らない予算編成を行うべきである。

② 総務部

○防災について

- ・防災無線の最初にチャイムなどを入れて徐々に音量を大きくするなどの工夫がほしい。
- ・防災無線がよく聞こえなかった。設置場所の検討をお願いしたい。
- ・水害時の避難所に関して再検討が必要ではないか。
- ・赤津地区の避難所の検討をお願いしたい。
- ・避難用物資を市内の避難所すべてに備蓄しておくようお願いしたい。
- ・関東・東北豪雨を踏まえてハザードマップの検証をお願いしたい。
- ・避難所は様々なケースを想定して設けるべきである。

- ・自治会において避難所、避難経路を検討しておく必要がある。
- ・大雨による避難経路の見直しが必要である
- ・避難訓練を地区ごとに実施してほしい。
- ・自治会単位での災害情報がほしい。
- ・市からの災害情報の収集は一カ所に集約してほしい。
- ・災害時の被害調査用に特殊車両を導入できないか。
- ・災害対策本部における早い対応を要望する。
- ・避難所の分りやすい標示をお願いしたい。
- ・栃木市内が冠水した原因を検証し対策を講じるべきである。
- ・災害時の情報伝達手段の検討が必要である。

○行政運営について

- ・総合支所の機能縮減の再検討をお願いしたい。
- ・総合支所の機能縮小は困る。住民サービスが低下しないようにお願いしたい。
- ・補助金の交付状況を市民に公開するべきである。
- ・合併後地域サービスが低下している。これ以上低下させないで欲しい。
- ・課長以上の管理職が、他市と比べて多い、組織機構の見直しを行うべきである。

③理財部

○市有財産について

- ・市役所のトイレにウォシュレット整備を要望する。
- ・市役所駐車場の空き状況の表示等の改善を要望する。
- ・警察署跡地を大型バス駐車場として開放すべきである
- ・寺尾南小学校の跡地利用について早急に結論を出してほしい。
- ・旧栃木第一小学校校舎に、公営の老人ホームを整備できないか。
- ・オリン晃電社の裁判の経緯と今後について、市民に対して説明を行うべきである。

○市税について

- ・都市計画税が高額で年金生活者には負担が大きい。軽減してもらえないか。

④生活環境部

○交通防犯について

- ・寺尾地区を通行するダンプカーの運転マナーの改善をお願いしたい。
- ・肉のふきあげの西の交差点の信号に、右折矢印をつけてほしい。
- ・〇ー１５７号線と蛭沼川連線の交差点の信号機の点滅時間帯の変更をお願いしたい。
- ・カインズモール付近の渋滞がひどい、改善をお願いしたい。
- ・国道２９３号線と県道宇都宮亀和田栃木線の交差点の信号待ち時間の検討をお願いしたい。
- ・西方小学校北側で事故が絶えない。交通事故防止の対策をお願いしたい。
- ・通学路への防犯灯の設置をお願いしたい。

- ・大平中学校の通学路である磯山地区に防犯灯の設置をお願いしたい。
- ・大宮北小周辺の通学路整備をお願いしたい。

○公共交通について

- ・ふれあいバスを自治医大に朝一便運行してほしい。
- ・小野寺地区の住民は佐野市へ買い物に行くことが多い。ふれあいバスを佐野地区へ運行して欲しい。
- ・蔵タク・ふれあいバスの市外への運行を検討してほしい。
- ・ふれあいバスの利用者が少ないが、運行を継続してほしい。
- ・蔵タクに安全運転の指導をお願いしたい。
- ・ふれあいバスの車両の小型化を検討できないか。
- ・蔵タク、ふれあいバスの利用者数増のための対策をお願いしたい。
- ・蔵タク、ふれあいバスの利便性向上をお願いしたい。
- ・ふれあいバスの料金の値下げをお願いしたい
- ・国府地区におけるふれあいバスの経路の検討をお願いしたい。
- ・真名子地区のふれあいバス停留所の見直しをお願いしたい。

○環境について

- ・箱森土地区画整理地内にゴミステーションの設置をお願いしたい。
- ・メガソーラー設置に対する条例制定が必要ではないか。

⑤保健福祉部

○児童福祉について

- ・国府地区の学童保育に待機児童の発生が懸念される。学童保育の充実をお願いしたい。
- ・学童保育に学校の余裕教室を利用するなどの解決策をお願いしたい。
- ・子育て支援策の充実をお願いしたい。

○高齢福祉について

- ・高齢者福祉に対する見守りネットワーク構築の指導をお願いしたい。
- ・民生委員の人選が困難である。良い方法を検討願いたい。
- ・民生委員が関わっている人の情報が自治会長に公開されないが改善できないか。
- ・敬老祝い金の増額をお願いしたい。

○健康増進について

- ・集団検診等の啓もうを積極的に行ってほしい。
- ・高齢者のガン検診等を医療機関で出来るように要望する。

○地域医療について

- ・寺尾地区に診療所の開設を要望する。
- ・地域のために貢献できる医師が確保できるような取組みをお願いしたい。

○とちぎメディカルセンターについて

- ・メディカルセンターしもつがへの案内標示板を整備してほしい。
- ・メディカルセンターしもつがは、電話による予約もできるように要望してほしい。
- ・メディカルセンターしもつがは、救急体制に万全をきして欲しい。
- ・メディカルセンターしもつがに産科を設置すると、開業医を圧迫するのではないか。
- ・メディカルセンターしもつがの医者確保に万全を期して頂きたい。
- ・メディカルセンターの運営について、今後もチェックしてほしい。
- ・メディカルセンターしもつがに産科の設置を早急をお願いしたい。
- ・メディカルセンターしもつがに愛称を設けないか。
- ・メディカルセンターしもつが付近の交通渋滞、駐車場の混雑が心配である。
- ・メディカルセンターしもつがに口腔外科の設置をお願いしたい。

⑥産業振興部

○農林業について

- ・農業予算が他市と比較して少ない。増額をお願いしたい。
- ・土地改良区維持管理適正化事業の市の負担割合の見直しをお願いしたい。
- ・畑の耕作放棄地が増えている。畑作物栽培に対する補助金交付の検討をお願いしたい。
- ・岩舟地域にある林道の拡幅を要望する。
- ・農業に関する助成金の支出方法を検討できないか。
- ・国府地区の農道の整備をお願いしたい。
- ・三毳山の松くい虫対策の強化をお願いしたい。
- ・皆川地区は、耕作放棄地が増加している。市として対策をお願いしたい。
- ・農家の後継者不足が深刻である。農家のやる気がでるような農業政策を求めたい。
- ・農業用水路敷の除草剤散布が大変である。市において支援をお願いしたい。
- ・今回の水害により土地改良区の水路に土砂が流入したが、土砂の撤去をお願いしたい。
- ・農繁期は土地改良区内の道路を農耕車優先にできないか。

○有害鳥獣について

- ・有害鳥獣対策について、防止柵設置に対する支援をお願いしたい。
- ・わな猟免許取得時の補助金について補助範囲の拡大をお願いしたい。
- ・イノシシ対策のさらなる充実をお願いしたい。
- ・西方城址および西方ふれあい広場のイノシシ対策をお願いしたい。
- ・小野寺地区の禁猟区の規制を緩和してほしい。

○商工観光について

- ・慈覚大師、村桧神社等は岩舟地域の観光スポットなので整備をお願いしたい。
- ・栃木地域におけるさらなる農業、商業、工業の連携が必要である。
- ・西方地域は鹿沼市と連携を図りながら、観光政策を行った方がよい。

⑦建設水道部

○道路整備について

- ・岩舟町古江地区の道路はカーブが多い。ストレートな道路に改良できないか。
- ・広域農道からセレモニーホールあすかまでの道路が狭隘であり、拡幅をお願いしたい。
- ・寺尾地区の道路の舗装の修繕をお願いしたい。
- ・寺尾地区の旧県道の路肩に縁石やアスカブを設置して、道路の粉じん対策をお願いしたい。
- ・寺尾地区の旧県道の側溝内の土砂の撤去をお願いしたい。
- ・大平中学校東側道路のマンホールが凸凹しており危険である。改修をお願いしたい。
- ・永豊橋の欄干の改修をお願いしたい。
- ・新栃木駅南側の踏切の渋滞緩和策をお願いしたい。
- ・歩道橋などに企業広告看板を設置させて宣伝料を取ってはどうか。
- ・十二社神社脇の側溝の土砂の撤去をお願いしたい。
- ・新栃木駅から嘉右衛門町伝建地区までの道路の無電柱化をお願いしたい。
- ・災害対策に巴波川綱手道の延伸を計画してほしい。
- ・栃木蔵の街郵便局付近の側溝の清掃をお願いしたい。
- ・小山栃木都賀線の早期開通をお願いしたい。
- ・都賀地域のベリーナイスのアーチが老朽化しており危険である。
- ・県道藤岡乙女線歩道の災害復旧を早急をお願いしたい。
- ・藤岡は一とらんど保育園周辺の道路整備を早急をお願いしたい。
- ・栃木栗野線の歩道未整備箇所の整備をお願いしたい。
- ・皆川地区の通学路で狭くて危険なところが3箇所ある。拡幅をお願いしたい。
- ・真名子地区の市道の整備をお願いしたい。
- ・真名子地区の栃木栗野線の道路拡幅をお願いしたい。
- ・市内大通りに蔵の街にふさわしい街路樹を植樹してはどうか。
- ・スマートインター設置を積極的に推進していただきたい。

○河川整備について

- ・中妻川の浚渫をお願いしたい。
- ・三杉川に葦や竹がはえて川の流れが変わった。河床浚いをお願いしたい。
- ・星野地区の河川整備をお願いしたい。
- ・寺尾地区の永野川がイノシシのすみかになっている。河川整備をお願いしたい。
- ・富田地区の排水溝の整備をしてほしい。
- ・永野川の蔵井の水門にポンプの設置等の検討をお願いしたい。
- ・猿渕川の河川改修が必要ではないか。

- ・赤津川の川底の土砂の浚渫や川岸の草刈を県に強く要望してほしい。
- ・二又川の河床浚いをお願いしたい。
- ・巴波川の河床浚いをお願いしたい。
- ・メディカルセンターとちのき南側の巴波川を除草して市民に開放してはどうか。
- ・ぬかり沼川の河川改修をお願いしたい。
- ・岡川の改修及び倒木の後始末をお願いしたい
- ・逆川に土砂が流入して危険である。復旧をお願いしたい。

○公園整備について

- ・栃木第二公園に防犯カメラを設置してほしい。
- ・国府地区の山田うどん店西側空き地に、公園の整備をお願いしたい。

○その他

- ・寺尾地区の急傾斜地で整備されていないところの整備をお願いしたい。
- ・真名子の水木地区の急傾斜地に防護壁のない箇所がある。県への要望をお願いしたい。

⑧都市整備部

○空き家について

- ・空き家条例に罰則を設けるべきではないか。
- ・空き家対策の充実をお願いしたい。

○その他

- ・栃木駅前のモニュメントを栃木市を表現できる様なものに変更してはどうか。
- ・藤岡駅前の整備事業を積極的に進めて頂きたい。
- ・人が集まる施設を造って、市街地の活性化をお願いしたい。

⑨教育委員会

○学校教育について

- ・地域コミュニティの要である学校は残してほしい。
- ・東陽中学校プールのフェンスの修繕を早急をお願いしたい。
- ・赤津小学校校庭の水はけが悪くなっている。校庭の改修をお願いしたい。
- ・皆川地区の通学路の危険な場所に防犯カメラを設置していただきたい。
- ・東陽中のグラウンド拡張問題などスピード感をもってやってほしい。
- ・小学生の宿泊体験学習の予算を削減しないでほしい。

○生涯学習について

- ・慈覚大師・円仁の顕彰記念所の看板改修をお願いしたい。
- ・大平地域の公民館の利用申請方法の検討をお願いしたい。
- ・渡良瀬運動公園が休日の翌日使用できないが利用できるように検討して欲しい。

- ・岩舟地域にグラウンドゴルフ専用グラウンドの整備をお願いしたい。

⑩ 消防本部

○消防団について

- ・消防団員の確保が困難である。市は何らかの対策をお願いしたい。
- ・災害時の市と消防団の連携の強化をお願いしたい。

⑪ 選挙管理委員会

○選挙について

- ・18歳で投票できるようになり、若者の政治参加のための政策が必要ではないか。

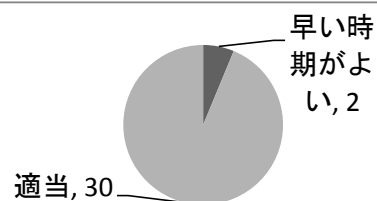
5. アンケート結果

(1) 議員アンケート

1 開催時期について

ア	早い時期がよい	2	6.3%
イ	適当	30	93.8%
ウ	遅い時期がよい	0	0.0%
	計	32	100.0%

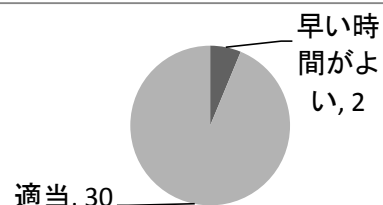
- ・次年度の予算編成に反映させるため早い時期が良い。



2 開始時間について

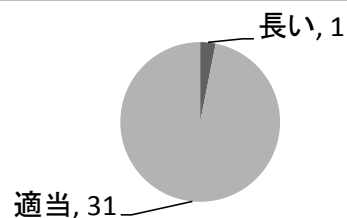
ア	早い時間がよい	2	6.3%
イ	この時間がよい	30	93.8%
ウ	遅い時間がよい	0	0.0%
	計	32	100.0%

- ・開始時間は今回ぐらいで良い。



3 開催時間について

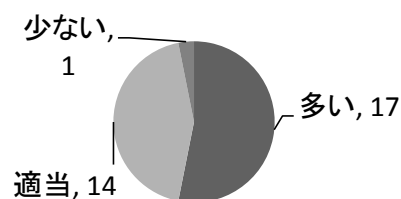
ア	長い	1	3.1%
イ	適当	31	96.9%
ウ	短い	0	0.0%
	計	32	100.0%



4 開催会場数について

ア	多い	17	53.1%
イ	適当	14	43.8%
ウ	少ない	1	3.1%
	計	32	100.0%

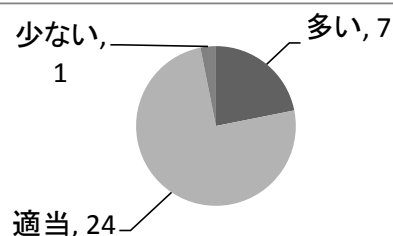
- ・19会場は多い。7会場（栃木2、大平1、藤岡1、都賀1、西方1、岩舟1）での開催で良いのでは。
- ・他の市議会の会場数などの検討が必要である。（ふれあいトークと重複しており、会場数は地域自治区ごとに1会場で良いのでは。）
- ・班の人数を3、4人にして会場数を増やすべき。



5 議員一人当たりの出席回数について

ア	多い	7	21.9%
イ	適当	24	75.0%
ウ	少ない	1	3.1%
	計	32	100.0%

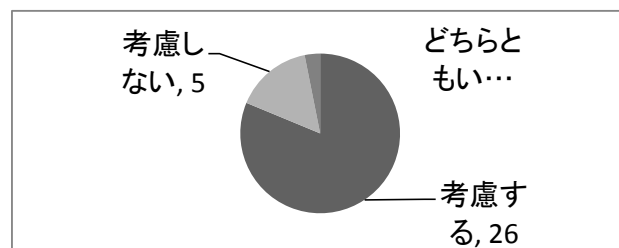
- ・当日、役割の無い人がおり減らしても良い。



6 班編成について

(1) 地域性について

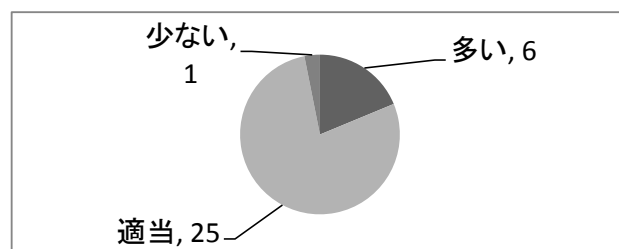
ア	考慮する	26	81.3%
イ	考慮しない	5	15.6%
	どちらともいえない	1	3.1%
	計	32	100.0%



- ・地域性を考慮し地元議員にする。人数不足は隣接した地域の議員を充てる。（地域の事を意見要望されても話がかみ合わない。）
- ・地元議員がいないと参加者の話が分からない。
- ・地元議員は2名以内にするべき。
- ・地元議員は1／3以内にするべき。（市民は多くの議員と意見交換をしたいようである。）
- ・地域性を考慮せず、常任委員会を基準に班を編成しては。

(2) 班の人数について

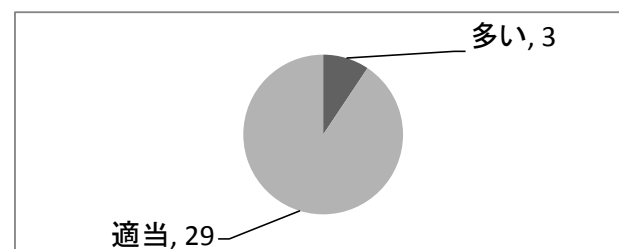
ア	多い	6	18.8%
イ	適当	25	78.1%
ウ	少ない	1	3.1%
	計	32	100.0%



7 議会報告について

(1) テーマの数について

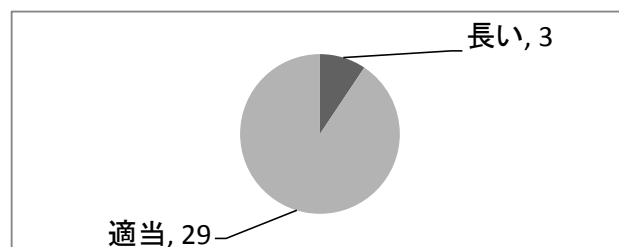
ア	多い	3	9.4%
イ	適当	29	90.6%
ウ	少ない	0	0.0%
	計	32	100.0%



- ・話題性のあるテーマにすると良い。

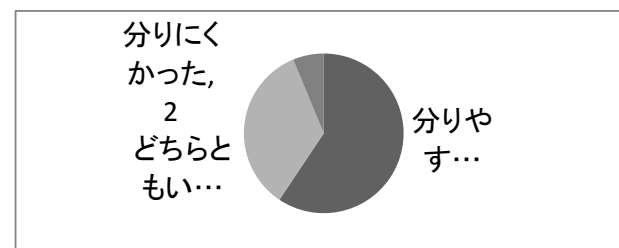
(2) 説明時間について (30分)

ア	長い	3	9.4%
イ	適当	29	90.6%
ウ	短い	0	0.0%
	計	32	100.0%



(3) 説明内容について

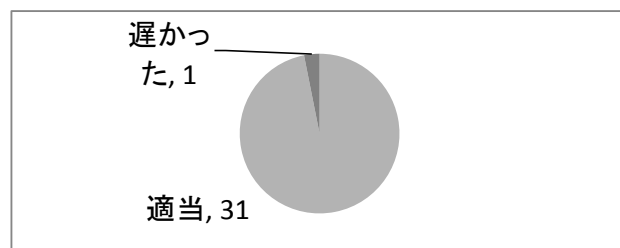
ア	分りやすかった	19	59.4%
イ	どちらともいえない	11	34.4%
ウ	分りにくかった	2	6.3%
	計	32	100.0%



8 資料について

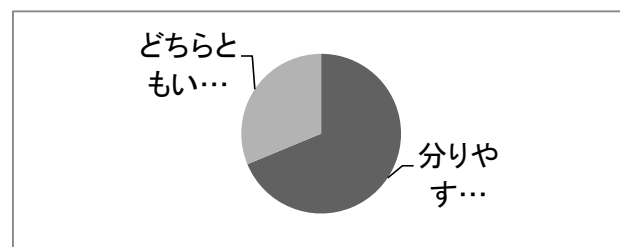
(1) 送付時期について

ア	早かった	0	0.0%
イ	適当	31	96.9%
ウ	遅かった	1	3.1%
	計	32	100.0%



(2) 内容について

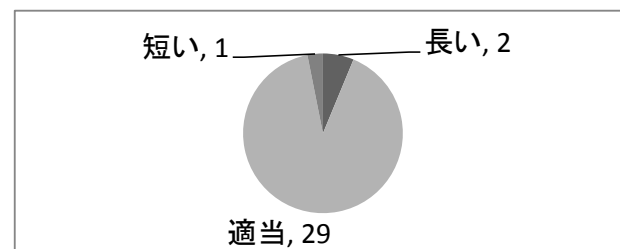
ア	分りやすかった	22	68.8%
イ	どちらともいえない	10	31.3%
ウ	分りにくかった	0	0.0%
	計	32	100.0%



9 フリートークについて

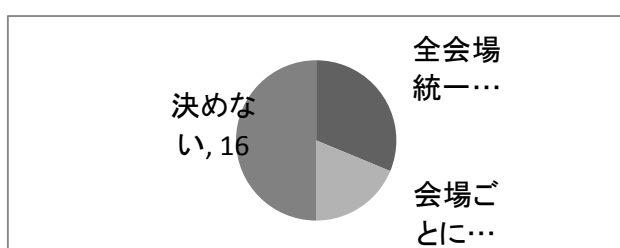
(1) 時間について

ア	長い	2	6.3%
イ	適当	29	90.6%
ウ	短い	1	3.1%
	計	32	100.0%



(2) テーマについて

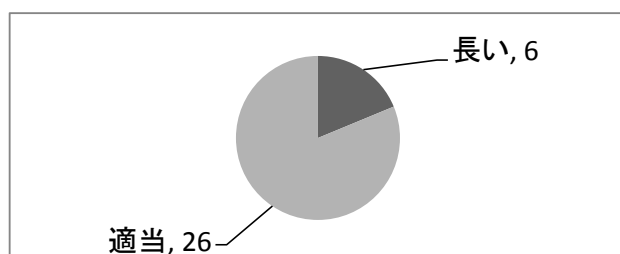
ア	全会場統一で決める	10	31.3%
イ	会場ごとに決める	6	18.8%
ウ	決めない	16	50.0%
	計	32	100.0%



・若年層の参加者が極端に少ない。若年層に絞ったテーマを設定してみてもいい。

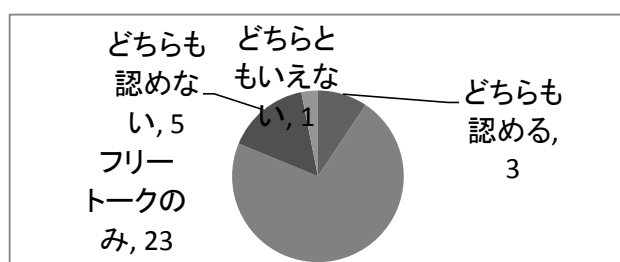
(3) まとめについて

ア	長い	6	18.8%
イ	適当	26	81.3%
ウ	短い	0	0.0%
	計	32	100.0%



10 議員個人の意見を述べることにについて

ア	どちらも認める	3	9.4%
イ	報告の質疑のみ	0	0.0%
ウ	フリートークのみ	23	71.9%
エ	どちらも認めない	5	15.6%
	どちらともいえない	1	3.1%
	計	32	100.0%



・個人の意見を述べることを認めると参加者がそういう質問ばかりしてくる可能性がある。

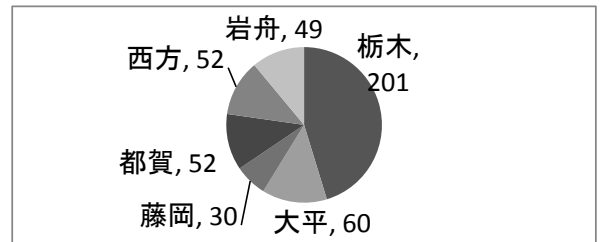
11 その他

- ・司会者は毅然とした仕切りができる司会者を選定し、司会者を固定した方が良い。
- ・チラシを見て参加する人は殆どいないので、市役所の市民スペース等を利用し、関心のあ
る市民のみで報告会を行う方向で考えた方が良い。
- ・フリートークの際、グループ間の距離が近く聞きづらい場合があった。複数の部屋で行う
と良い。
- ・今年は、議員の傍聴が少なかった。
- ・スクリーンを利用して報告を行うべき、写真等もスクリーンの方が見やすい。
- ・日程調整の際に事前に議員に示してほしい。
- ・自治会長あてに、参加依頼を送付したのは良かった。今後も続けていただきたい。
- ・年1回ではなく複数回の開催を検討して良いと思う。
- ・班の人数を3、4人にして会場数を増やすべき。
- ・フリートークにおいて、一人目の意見のテーマになり、内容が偏る傾向にある。様々なテ
ーマの意見を聞くためにある程度は議員がリードした方が良い。
- ・報告の質疑等の回答で、執行部の答弁のようなものがあった。発言の仕方を考えるべき。

(2) 市民アンケート

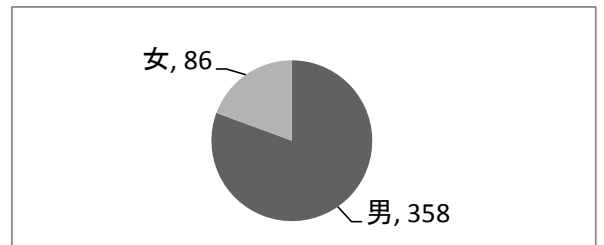
1 所在地

ア	栃木地域	201	45.3%
イ	大平地域	60	13.5%
ウ	藤岡地域	30	6.8%
エ	都賀地域	52	11.7%
オ	西方地域	52	11.7%
カ	岩舟地域	49	11.0%
	計	444	100.0%



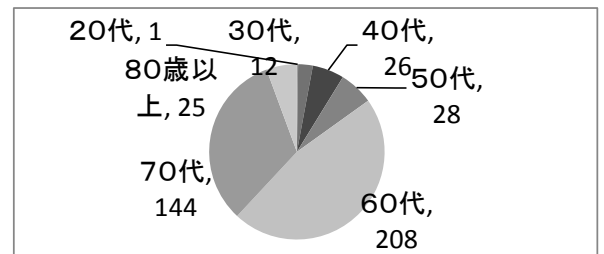
2 性別

ア	男	358	80.6%
イ	女	86	19.4%
	計	444	100.0%



3 年齢

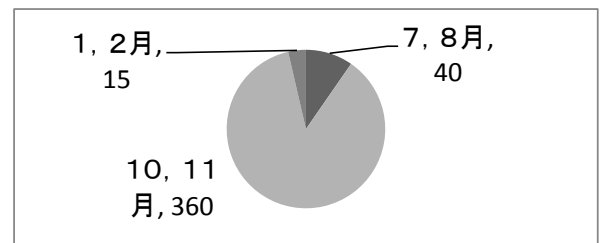
ア	20歳未満	0	0.0%
イ	20代	1	0.2%
ウ	30代	12	2.7%
エ	40代	26	5.9%
オ	50代	28	6.3%
カ	60代	208	46.8%
キ	70代	144	32.4%
ク	80歳以上	25	5.6%
計	計	444	100.0%



4 議会報告会について

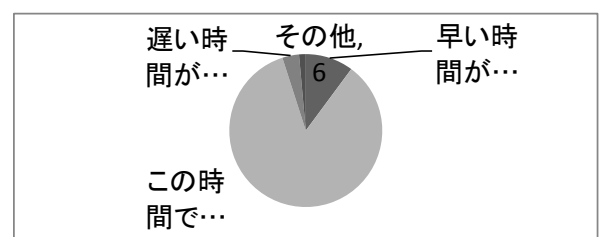
(1) 開催時期について

ア	7, 8月	40	9.6%
イ	10, 11月	360	86.7%
ウ	1, 2月	15	3.6%
	計	415	100.0%



(2) 開催時間について

ア	早い時間がよい	43	10.1%
イ	この時間でよい	360	84.9%
ウ	遅い時間がよい	15	3.5%
エ	その他	6	1.4%
	計	424	100.0%



その他の内容

・土、日曜日の開催がよい。

・昼間の明るい時間

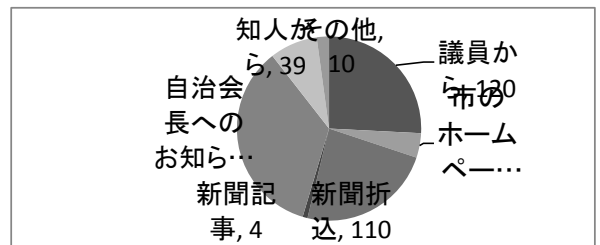
・土、日曜日の午後の開催がよい。

(3) 開催情報取得源について

ア	議員から	120	25.8%
イ	市のホームページ	20	4.3%
ウ	新聞折込	110	23.7%
エ	新聞記事	4	0.9%
オ	自治会長へのお知らせ	162	34.8%
カ	知人から	39	8.4%
キ	その他	10	2.2%
	計	465	100.0%

その他の内容

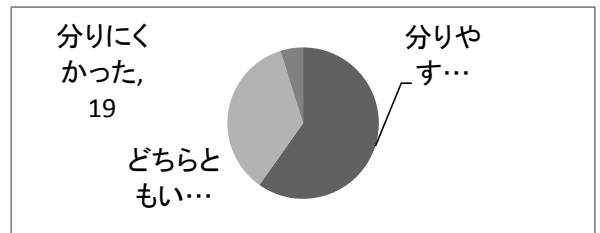
・広報とちぎ ・自治会内回覧 ・公民館からの通知



5 議会報告について

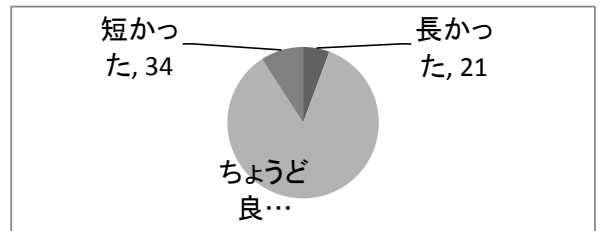
(1) 説明の内容について

ア	分りやすかった	235	59.8%
イ	どちらともいえない	139	35.4%
ウ	分りにくかった	19	4.8%
	計	393	100.0%



(2) 説明時間について

ア	長かった	21	5.6%
イ	ちょうど良かった	318	85.3%
ウ	短かった	34	9.1%
	計	373	100.0%



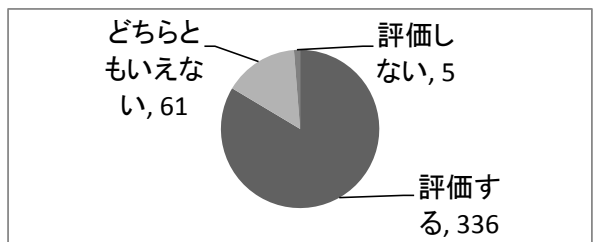
(3) 今後聞きたい報告事項について

- ・ふれあいバスについて
- ・新大平下駅西区画整理について
- ・斎場について
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ・スマートインターチェンジについて
- ・マイナンバー制度について
- ・子育て政策について
- ・地域会議について

6 フリートークについて

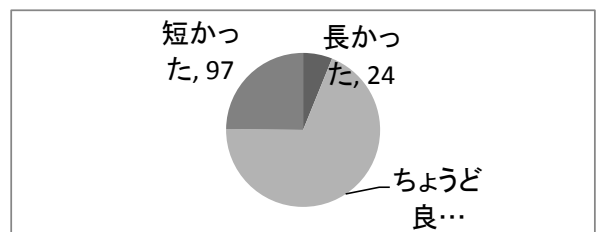
(1) 実施したことに対する評価について

ア	評価する	336	83.6%
イ	どちらともいえない	61	15.2%
ウ	評価しない	5	1.2%
	計	402	100.0%



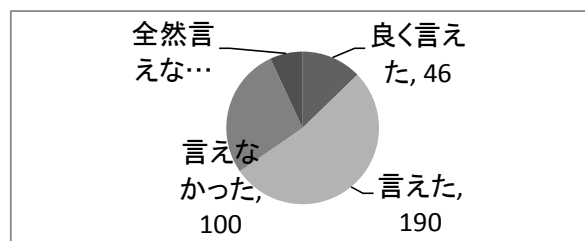
(2) 時間について

ア	長かった	24	6.1%
イ	ちょうど良かった	270	69.1%
ウ	短かった	97	24.8%
	計	391	100.0%



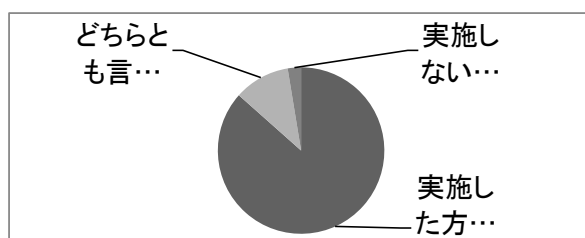
(3) 意見をいえたか

ア	良く言えた	46	12.7%
イ	言えた	190	52.6%
ウ	言えなかった	100	27.7%
エ	全然言えなかった	25	6.9%
	計	361	100.0%



(4) 今後も実施したほうが良いか

ア	実施した方がよい	335	86.6%
イ	どちらとも言えない	42	10.9%
ウ	実施しない方がよい	10	2.6%
	計	387	100.0%



6. 平成28年度議会報告会への提言

○開催時期及び回数について

・年1回、9月定例会後の開催を基本とするが、アンケートにおいて次年度の予算編成に反映させるため早い時期がよい
7、8月開催という回答があることから
6月定例会後の開催について検討が必要である。



○開催日時について

・平日の午後6時30分からの開催を基本とするが、市民アンケートにおいて早い時間がよい、土、日曜日の開催がよいとの意見があることから、明るい時間帯および土、日曜日の開催について検討が必要である。

○会場数及び会場の選定について

・議員アンケートにおいて過半数が会場数が多すぎると回答していることから会場数については検討が必要である。

○班編成について

・27年度と同様に地域性を考慮することを基本とするが、地域性を考慮せず、常任委員会を基準にした班編成について検討が必要である。

- ・班の人数は、27年度と同程度とする。
- ・班の役割分担は、27年度と同じで良い。

○報告事項のテーマや内容について

- ・報告事項は3つ程度とし、報告事項の説明時間を20分程度で収まるようにする。

○議会報告の資料および説明について

- ・市民アンケートにおいて少数ではあるが、説明が分かりにくかったとの回答があったことからパワーポイントを使用した説明、議会用語の解説を載せる等の改善が必要である。

○フリートークについて

- ・市民アンケートにおいて2割が時間が短かったと回答していることからフリートークの時間を長くするための検討が必要である。
- ・市民アンケートにおいて3割が意見が言えなかった、全く言えなかったと回答していることから全員に発言してもらうためのルール作りの検討が必要である。
- ・議員アンケートにおいて半数がテーマを事前に決めておくとういと回答していることから事前にテーマを決めることについての検討が必要である。
- ・フリートークの書記は録音した音声を使用して会議録を詳細に作成し、電子データにより提出することとする。

○議員個人の意見について

- ・議員個人の意見は27年度と同様に報告に対する質疑の際は、議員個人の意見を述べてはいけませんが、フリートークの際は、議員個人の意見を述べてもよいこととする。

○市民への周知方法について

- ・市民アンケートにおいて3割が自治会長へのおしらせにより参加していることから自治会長連合会を通し、自治会長へのおしらせをするとよい。
- ・市民への周知については、さらなる研究が必要である。

○その他

- ・議員全員を対象にした事前説明会を開催すると良い。
- ・班ごとの事前打ち合わせを行うと良い。



議会報告会運営委員会の設置

本市議会では、平成23年3月に制定した、「栃木市議会基本条例」の第8条において、「議会は、年1回以上議会報告会を開催し、市民との意見交換を行うものとする。」と規定し、また、同条例第2条第6項において、「議会は、市民に説明責任を果たすため、市民にとってわかりやすい説明に努めなければならない。」と規定しています。

この議会基本条例による議会の役割を果たすためには、議員が積極的に地域に出向き市民との連携を図りながら説明責任を果たす取り組みが必要であります。

このようなことから、議会報告会を開催するため、議長の諮問機関として「議会報告会運営委員会」を設置するものである。

1. 名 称

議会報告会運営委員会

2. 組 織

議員の居住地ごとに選出した14人の委員で組織する。

委員会に、委員長・副委員長を置く。

任期は、議長の在任期間とする。

3. 会 議

委員会は、委員長が招集し、その座長となる。

委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことはできない。

議長は、委員会に出席し、意見を述べることができる。

会議結果は、適宜議長に報告する。

4. 検討事項

(1) 議会報告会の企画・立案に関すること。

(2) 議会報告会の開催・運営に関すること。

(3) その他

議会報告会運営委員会委員名簿

◎大 武 真 一
○大 川 秀 子
大 谷 好 一
青 木 一 男
針 谷 育 造
小久保 かおる
古 沢 ちい子
氏 家 晃
針 谷 正 夫
広 瀬 義 明
福 富 善 明
永 田 武 志
梅 澤 米 満
中 島 克 訓

◎ 委員長 ○ 副委員長

議会報告運営委員会 開催状況

回数	開催日時	議題
1	平成27年5月12日(火) 午後1時30分	・平成27年度議会報告会について
2	平成27年6月11日(木) 午後1時30分	・平成27年度栃木市議会報告会開催要領(案)について ・その他
3	平成27年6月29日(月) 午後1時	・平成27年度栃木市議会報告会開催要領(案)について ・今後の議会報告会のスケジュールについて ・その他
4	平成27年9月24日(木) 午後1時30分	・報告会資料の検討について ・その他
5	平成27年10月5日(月) 午後2時	・報告会資料の検討について ・議会報告会の広報について ・その他
6	平成28年1月15日(金) 午後2時	・報告会の検証について ・意見等の取り扱いについて ・報告書の作成について ・その他
7	平成28年2月18日(木) 午後3時	・平成27年度議会報告会結果報告書(案)について ・市長への提言について ・その他

平成27年度 栃木市議会報告会開催要領

1 開催日時

10月27日（火）から11月20日（金）までの10日間、市内19会場で行い、全日とも午後6時30分開始とする。

2 班編成

議員の地域性を考慮しつつ、各会場に地域外の議員が出席出来るように編成する。1班6人以上、議員1人あたり3～4回の出席とする。

3 報告会の役割分担

報告会における役割は、班長、副班長、司会、報告者などとし、それぞれの班において協議し、調整する。（受付・マイク係・お茶係は臨機応変に対応し行う）

なお、答弁は、全員で行うものとする。

役 割	留 意 事 項
班 長	① 班を統括し、報告会の運営を行う。
副班長	① 班長を補佐し、班長に事故あるときは、班長に代わり報告会の運営を行う。
司 会	① 参加者からより多くの発言が得られるように配慮することとする。（一人の人が連続して発言することのないよう注意する） ② 報告に対する質疑の際の議員個人に対する質問については、個人の意見を報告する場ではないことを理解してもらうように努める。 ③ 同じような質問が出た場合は、その旨を話して了承してもらう。
報告者	① 報告内容をわかりやすく説明する。（参考までに口述例を配布するが、資料に基づき説明しても良い）
記録者	① 後日、回答しなくてはならない質疑が出る可能性もあるため、自治会名、氏名、質疑内容、回答内容を記録しておく。（共通の記録用紙を使用する） ② 音声についても録音する。
フリーストークの進行役	① 参加者からより多くの発言が得られ、活発な意見交換となるよう配慮する。
フリーストークの記録者	① 進行役を補佐し、フリーストーク内の発言を記録する。 ② 参加者からの発言を整理し、最後のまとめの時間に発表する。 ③ 音声についても録音する。

4 報告会の次第

報告会は、報告の説明20分、質疑応答10分とし、フリーストークを45分、まとめとしてグループごとの発表を10分程度行い、1時間30分程度で終了する。

- (1) 開会 （司会が行う）
- (2) あいさつ （班長が行う）
出席者自己紹介
- (3) 議会報告（20分）（班の報告者により行う）
 - ・9月定例会について
 - ・議会基本条例の検証及び議会改革について
 - ・とちぎメディカルセンターについて
- (4) 報告に対する質疑（10分）

(5) フリートーク (45分)

1 グループ10人程度を目安とし、参加人数に応じて臨機応変にグループ分けを行う。
(議員は各グループに2人ずつ入り、進行役と書記を行い、最後にグループで出た意見を発表する。)

(6) まとめ (10分)

(7) 閉会 (司会が行う)

5 会場準備

午後5時30分までに各会場に集合し、全班員で会場準備を行う。(午後6時受付)(別紙3議会報告会基本レイアウト図)

6 資料

報告会での配布資料は共通資料とする。

7 会議結果等

報告会の会議結果等は、報告会終了後、各班の班長がまとめて議会事務局に提出する。

8 その他

(1) 議員個人の意見

報告に対する質疑の際は、議員個人の意見を述べてはいけませんが、フリートークの際は、議員個人の意見を述べてもよい。

(2) 資料作成班

報 告 内 容	作 成 議 員
9月定例会の報告	○福富善明 針谷育造 広瀬義明 梅澤米満
議会基本条例の検証及び議会改革	○中島克訓 青木一男 小久保かおる 針谷正夫
とちぎメディカルセンター	○大谷好一 古沢ちい子 氏家 晃 永田武志

○印 リーダー

(3) フリートークでの市民の意見等の取扱いについて

フリートークにおける市民からの意見等については、なるべくその場において解決することとし、後日回答が必要な場合は、別紙4議会報告会記録簿に記入することとする

(4) 執行部への提言について

フリートークにおいて出た意見のうち、特に参考とすべき事項について提言書として提出する。

平成27年度議会報告会資料

1 9月定例会について

(1) 会期 平成27年8月28日～9月25日(29日間)

(2) 市長提出議案等 48件

- ・報告 10件
- ・補正予算 4件
- ・条例の制定 4件
- ・条例の一部改正 8件
- ・人事案件 7件
- ・その他の案件 5件
- ・決算の認定 10件

〈主な議案等〉

※ マイナンバー制度関連議案

○議案第82号 平成27年度栃木市一般会計補正予算(第2号)

○議案第85号 栃木市行政手続における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について

○議案第88号 栃木市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第93号 栃木市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

・主な討論

- [反 対] ①国に一元管理された個人情報が監視、監督される恐れがある。
②現在は強制ではないと言っているが、将来的にはカードがないと生活や社会参加が成立せず、実質的な強制化をたどることになる。
③多額の予算の割にメリットが少ない。
④プライバシー侵害の危険性が高まる。

- [賛 成] ①社会保障と税制度の効率性、透明性を高める。
②国民にとって利便性の高い重要な社会基盤整備である。
③マイナンバー制度を本市だけ導入しないととなると市民生活への影響が大きい。

・採決の結果

賛成：29 反対：2 賛成多数により原案を可決した。

○認定第1号 平成26年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について

・平成26年度一般会計の決算概要

歳入総額： 689億7,542万円
歳出総額： 649億3,567万円
歳入歳出差引額： 40億3,975万円

・各常任委員会での主な審査について

「総務常任委員会」

- ①消防団サイレン吹鳴装置整備事業費について
- ②事務の再委託に関する個人情報の取り扱いについて
- ③ふるさと応援寄附事業費について
- ④災害等の緊急時におけるFM放送について

「民生常任委員会」

- ①臨時職員の守秘義務について
- ②個人番号カード交付事業関係補助金について
- ③個人番号紛失時の対応について
- ④証明書コンビニ交付システム事業費について
- ⑤ふれあいバス運行事業費及び蔵タク運行事業費について
- ⑥国民健康保険税の収納率について

「産業教育常任委員会」

- ①とちぎ秋まつりブランド化事業費について
- ②千塚町上川原産業団地の用地取得について
- ③勤労青少年ホームの今後のあり方について
- ④農地銀行の利用状況について
- ⑤青年就農給付金補助金の実績について
- ⑥道の駅にしかたの来客者数の推移について

「建設常任委員会」

- ①調整池等管理費（大平）について
- ②市道各号線橋りょう補修事業費について
- ③シビックコア推進事業費について
- ④歩いて行ける公園整備事業費（錦着山公園）について

・主な討論

[反 対] ①岩舟地域では、合併後、福祉タクシー券、赤ちゃん誕生祝金、敬老会への補助等が減額されている。

②証明書コンビニ交付事業等の無駄な事業を見直し、市民生活に直結した事業に取り組むべきである。

③産業団地造成などの大型事業から、福祉優先の姿勢に転換すべきである。

[賛 成] ①総合計画等に位置付けられた各種事業を着実に推進している。

②とち介の活用による一体感の醸成、ふるさと納税の大幅な増収、藤岡地域の統合保育園整備、とちぎメディカルセンター整備への支援など、バランス良く施策を実施している。

・採決の結果

賛成：30 反対：1 賛成多数により原案を可決した。

○議案第108号 栃木市一般会計補正予算（第3号）

・補正予算（第3号）の概要（総額3億9,930万円の増額）

災害見舞金	6,865万円
罹災消防団車両修繕費	1,500万円
農業施設災害復旧費	3,750万円
道路橋りょう災害復旧費	1億9,240万円
小学校災害復旧費	1,000万円
予備費	5,000万円

本補正予算については、今般の豪雨被害に急きょ対応するため、9月定例会最終日に提出され、質疑の後、全会一致で原案を可決した。

（3）議会提出議案等 6件

- ・意見書 4件
- ・決議 1件
- ・規則の一部改正 1件

〈主な案件等〉

○意見書案第2号 安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書

（趣旨）安全保障関連法案の今国会での成立に固執することなく、慎重審議を求める。

・採決の結果

賛成：19 反対：13 賛成多数により原案を可決した。

○決議案第1号 台風第18号等による大雨被害に関する決議

（趣旨）大雨被害からの一日も早い復旧を願うとともに、全力でこの難局を乗り切るため、以下のことを決議する。

- ① 被災市民が1日でも早く以前の生活を取り戻せるよう、復旧支援に取り組む。
- ② 市内の農業、工業、商業等の産業活動の復旧支援に取り組む。
- ③ 復旧支援の実施に際し、効率的、効果的な財政配分を求める。
- ④ 各種復旧支援策について、国県等関係機関に働きかける。
- ⑤ 防災対策の強化に取り組む。

・採決の結果

全会一致で原案を可決した。

(4) 陳情等 5 件

○陳情第 2 号 「国の責任による 3 5 人以下学級の前進」を求める陳情

・採決の結果

賛成：27 反対：4 賛成多数により採択した。

○陳情第 3 号 国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金の確立を求める陳情

・採決の結果

賛成：2 反対：29 賛成少数により不採択とした。

○陳情第 4 号 「大学生への給付制奨学金創設」を求める陳情

・採決の結果

賛成：2 反対：29 賛成少数により不採択とした。

○陳情第 5 号 特別支援学校の「設置基準」策定を国に求める陳情

・採決の結果

賛成：28 反対：3 賛成多数により採択した。

○陳情第 6 号 国に「国の経済財政運営と改革の基本方針」の見直しを求める意見書の提出を要請する陳情書

・採決の結果

全会一致で採択した。

(5) 一般質問等

○16 人の議員が登壇し、39 項目について一般質問を行った。(次ページ参照)

○2 人の議員が 6 議案等に対して質疑を行った。

一 般 質 問 一 覧 表

登壇日	質 問 議 員	質 問 要 旨
9月1日 (火)	海老原恵子 議員	1. 平成26年度栃木市決算について 2. 保育新制度での自治体の責任について 3. 栃木市の学童保育の取り組みについて
	長 芳孝 議員	1. 栃木地区交通安全協会活動について 2. 農業公社の設立について
	古沢ちい子 議員	1. 栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略について 2. 安心、安全なまちづくりについて 3. 市民の健康づくりについて
	広瀬 義明 議員	1. 栃木市常備消防について 2. 栃木市におけるボランティア育成について
9月2日 (水)	大谷 好一 議員	1. クリーンプラザで製造する溶融スラグの有効利用について 2. 無電柱化の推進に向けた取り組みについて
	小久保かおる議員	1. 不妊治療支援事業について 2. がん対策について
	大川 秀子 議員	1. 地域資源を活かした観光行政について 2. 女性の活躍推進について 3. 公共施設等総合管理計画について
	福田 裕司 議員	1. 栃木市自転車安全利用について 2. 栃木市自主防災組織の強化と推進について
9月3日 (木)	大出 三夫 議員	1. 栃木市の農業行政について 2. スポーツの推進について
	天谷 浩明 議員	1. 学童保育について 2. 投票率向上について
	大武 真一 議員	1. 市の入札業務の改善改革について 2. 市長等の政治倫理条例の制定について 3. 市民満足度の高い街づくりについて 4. 旧栃木警察署跡地利用は慎重にすべき
	白石 幹男 議員	1. 医療費助成制度の拡充について 2. 後期高齢者医療保険制度について 3. 有害鳥獣対策について
9月4日 (金)	針谷 正夫 議員	1. 西方地域に設置予定のメガソーラーについて 2. 地元業者の優先発注について
	針谷 育造 議員	1. 栃木市における平和行政について 2. 小野寺北小旧校舎の保存について 3. 岩船山西部・新里地内の土砂埋め立てについて
	氏家 晃 議員	1. 栃木市プレミアム付き商品券について 2. 有害鳥獣（特にイノシシ）対策について
	中島 克訓 議員	1. 消防団について 2. はつらつセンター事業について

10月臨時会について

(1) 会期 平成27年10月21日(1日間)

(2) 市長提出議案等 7件

・補正予算 6件

・条例の廃止 1件

〈議案の内容〉

○一般会計補正予算(第4号)の概要(30億8,459万5000円の増)

・災害見舞費 7,360万円

・被災家財等購入等補助金 1億7,400万円

豪雨により損壊した家財、家電、自動車等の買替え、修繕費用の一部を助成するものです。

・災害廃棄物処理事業費 1億2,898万2,000円

・農畜産業災害復旧支援事業費 8,958万円

豪雨により冠水し故障した農業用機械の修理、買い替え、地域の農家が利用する共同利用施設の復旧、収穫後の水稻被害等への支援を行うものです。

・中小企業災害復旧支援事業費 8,100万円

豪雨により被災した中小企業者のうち、補助金の交付申請があった方に対し、生産設備等の再建に要した費用及び災害復旧に係る融資の利子の一部を助成するものです。

・被災者住宅等復旧支援事業費補助金 1億円

豪雨により大きな被害を受けた住居の復旧費用の一部を助成するものです。

・農業施設災害復旧事業費 5億8,500万7,000円

・道路橋りょう災害復旧事業費 11億3,582万円

・小学校施設災害復旧事業費 1億6,088万7,000円 等

〈質疑の概要〉

- ① 被災者支援の対応について
- ② 西前原排水機場設備整備事業費について
- ③ 災害廃棄物処理事業費
- ④ 農畜産業災害復旧支援事業費
- ⑤ 被災者住宅等復旧支援事業費補助金

〈採決の結果〉

全議案とも、討論なく、全会一致で原案を可決した。

被害の状況	平成27年10月5日現在			
○人的被害				
死亡1名(溺死)				
○建物(住家、事業所等)被害				
床上浸水	1093棟	床下浸水	1,720棟	損壊 9棟
○避難の状況				
9月10日(最大)避難所数	16箇所	避難者数	446世帯	1,055人
10月5日(現在)避難所数	4箇所	避難者数	68世帯	92人
○農業・農業施設被害				
被害農家数	2,052戸	被害面積	1,497.14ha	
被害金額	1,238,998千円			

2 議会基本条例の検証及び議会改革について

(1) 議会基本条例の検証について

①議会基本条例の検証とは

本市議会の最高規範である栃木市議会基本条例（以下「条例」という。）第21条（下記抜粋参照）の規定に基づき、議会運営委員会において条例の達成状況について検証をすることになっている。

〔 栃木市議会基本条例 抜粋 〕

（目的）

第1条 この条例は、真の地方主権の実現に向けて、議会及び議員が担う役割を果たすために必要な基本的事項を定めることにより、議会を活性化し、市民の負託に応えられる議会運営の実現を図り、市民が安心して生活できる豊かなまちづくりの実現に資することを目的とする。

（達成状況の検証）

第21条 議会は、一般選挙後、できるだけ速やかに、この条例の目的が達成されているかどうかを、議会運営委員会において検証するものとする。

2 議会は、前項による検証の結果を公表し、制度の改善が必要となったときは、この条例の改正を含めて適切な措置を講じるものとする。

②検証方法について

○検討体制

①議会運営委員会 7名 委員長 永田 武志
副委員長 福田 裕司
委員 大谷 好一 茂呂 健市 古沢ちい子
岡 賢治 小堀 良江

②議長 関口孫一郎 副議長 海老原恵子（平成27年5月29日まで）
副議長 入野登志子（平成27年5月30日から）

（議長及び副議長については、オブザーバーとして会議に出席し、委員長の許可を経て発言することができる。なお、採決には加われないこととする。）

○検証の進め方

①全22の条項について、一条一項ずつ検証を行うこととする。

②検証は3段階で評価することとする。

③評価に際しては、その検証の内容や理由等を記載することとする。

④検証については、達成状況検証表により行うこととする。

【評価の段階】

A：達成	…	当該条項は概ね（8割程度）その目的を達成した。
B：一部達成	…	当該条項は一部（5割程度）その目的を達成した。
C：未達成	…	当該条項は、目的を達成できなかった。（3割以下）
—：対象外	…	当該条項は、検証の対象外とする。

③検証結果について（抜粋）

条文	評価	評価内容
第2条（議会の使命） 第3項（政策立案等強化）	B	市政のチェック機能については、一般質問等の議会活動において積極的に行っている。 なお、前期においては、議会基本条例及び政治倫理条例を制定した。 今後も政策立案機能を強化し、政策条例の制定等に取り組むべきである。
第4項（自由な討議）	B	各常任委員会で試行実施しているが、議会全体としては十分とは言えないため、会議規則等でルール化を図ることで、活性化する必要がある。
第4条（議員の使命） 第3項（情報発信）	B	第2条第4項（議会の使命）との関連もあるが、討議については、会議規則等でルール化を図ることで、活性化する必要がある。
第16条（議員定数）	B	岩舟町との合併に際し、議員定数等の検討を行っているが、市民を含む第三者機関による議員活動の客観的評価等は実施していない。
第17条（議員報酬）	B	議員報酬の改正は行っていないが、議員定数と併せて検討すべきである。
第21条（条例の検証） 第1項（検証方法、主体等）	B	本条例の効果的な検証を行うため、検証時期の見直しの検討を要す。

評価の内訳

評価結果	項目数
A（達成）	32
B（一部達成）	13
C（未達成）	0
—（検証対象外）	4

本検証において、約7割の条項がほぼ達成されており、条例の趣旨に則って概ね活動できていると評価できている。

ただし、一部達成という評価の条文が3割程度見受けられ、条例の目的達成にむけ、更なる取り組みの充実が必要である。

④議会基本条例の改善点

今回の検証において「Bランク」とされた条項のうち、改善が必要と思われる事項について以下のとおり議長に付言した。

○議員間の活発な自由討議について

各常任委員会において審査対象を限定し、試行的に自由討議を実施しているが、その取り組みは十分とはいえない。会議規則等にその実施方法等を規定し、自由討議の活性化を図る必要である。

○情報発信の強化について

特に、議会独自の視点による市民への情報の発信については、議会の広報活動を充実させるなどして、その取り組みの強化が必要である。

○政策立案機能の充実について

議会、議員には、市民の意向を把握し、それを市政に反映することが求められている。

議員研修会や各会派の調査研究活動等の充実を図り、政策立案機能の強化が必要である。

○議員定数及び議員報酬について

議員定数及び議員報酬については、実際の検討には至っていない。

しかし、条文中の「第三者機関の定義」及び「客観的評価の方法」については、具体的な検討を要するものと考えられる。

なお、検討の実施に当たっては、市民への説明責任を果たしつつ、透明性が確保が必要である。

○条例検証の時期について

検証の時期を一般選挙前にすることで、任期中の議会活動が本条例の目的に沿うものであるのかを検証し、検証結果を次の市議会につないでいく方法も有効であるため、条例改正に向けた検討を進められたい。

(2) 議会改革について

①本市における議会改革の取り組み

○議会改革検討委員会の設置（平成26年7月）

議長の諮問機関として各会派から推薦のあった委員10名で組織する「議会改革検討委員会」を設置した。

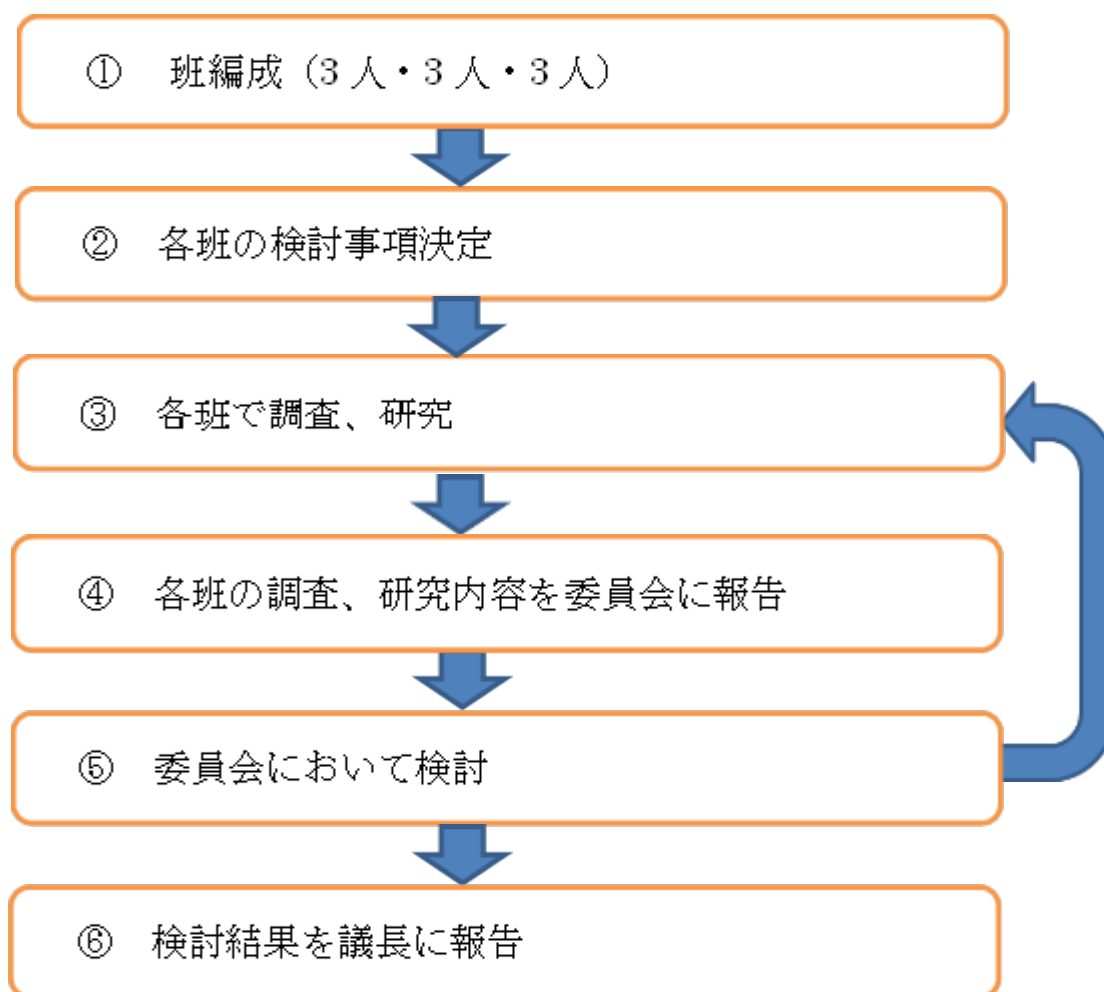
現在まで、16回の会議を開催し、2元代表制の一翼を担う議会の機能を高め市民に開かれた議会実現のため、検討事項の抽出及び検討事項についての検討を行っている。

○議会改革検討委員会における検討方法

委員会内に1グループ3人ずつのワーキンググループを3グループ編成し、各グループにおいて、検討事項を調査研究し、調査研究内容を委員会に報告する。

委員会は、検討事項についてワーキンググループの調査研究内容を基に検討し、検討結果を議長に報告する。

検 討 の 進 め 方



○議会改革検討委員会における検討状況

番号	検 討 事 項	討 論 内 容
1	一般質問について	議員一人当たりの時間を60分程度とすべく質問、答弁を簡潔にまとめることにする。 また、重複質問については、通告受付日の翌日に、調整及び再提出の機会を設ける。
2	I C T化について	議会運営の効率化のため、タブレット端末導入に向け、先進市議会への視察等を行い研究している。
3	常任委員会会議録の公開について	平成26年6月定例会以降の常任委員会会議録を議会ホームページにおいて公開している。
4	請願・陳情等提出者からの意見陳述について	平成27年9月定例会から請願・陳情等提出者の意見陳述の機会を設ける。
5	質疑の方法について	平成27年12月定例会から、分かりやすい質疑を行うため、発言明細書の発言明細ごとに質疑を行うことにした。
6	議案書及び議案説明書のホームページ公開について	平成27年12月定例会から、市民の利便性を高め、市民に開かれた議会を実現するために議案書及び議案説明書をホームページで公開する。
7	政策立案について	平成27年10月に議会として政策研究を推進し、機能強化を図るため、「政策研究会」を設置した。

フリートークにおける主な意見、要望及び回答

○小野寺地区公民館 10月27日（火）

1班

要 三杉川の河床さらいをお願いしたい。

A 河川は県の管理になる。災害復旧と併せて県に要望したい。

要 中妻川の浚渫をお願いしたい。

A 執行部に要望した方がよい。

要 小山市の農業予算と本市の農業予算を比較すると金額の差がありすぎる。小山市と同等の金額を計上して欲しい。

土地改良区の水排水施設の老朽化が著しい。土地改良区の施設整備費の増額をお願いしたい。

要 今回の水害により土地改良区の水路に土砂が流入したが、土砂の撤去をお願いしたい。

A 今回の補正予算に計上されている。

要 畑の耕作放棄地が増えている。市でも畑作についても補助金を出す等できないか。

要 日本の農業、林業をどうするか考えないと大変なことになる。この辺は農業が基幹産業であるので特に大変である。

要 消防団員の確保が困難である。市で何か対策をしてもらいたい。

A 市全域的に消防団員の確保が困難である。市も対策を講じているが、厳しい状況にある。更なる団員確保策をお願いしたい。

2班

要 栃木市と合併したが、若い力を使ってまちおこしを行うなどスピーディな活性化が必要だ。

A その通りと思う。議会もしっかり行っていきたい。

要 合併で岩舟もふれあいバスが通るようになった。利用の状況はどうか。バス停留所、時刻表等を配布して欲しい。

A 今回はメディカルセンターの開院に合わせて見直しを予定している。利用者の意見を聞いて見直す事になる。意見等は言って欲しい。

要 この地区は佐野市へ買い物に行くことが多い。ふれあいバスを佐野地区へ運行して欲しい。



A 難しい課題であるが、執行部には伝えたい。

㊦ 古江地区の道路はカーブしており事故が多い。ストレートな道路に改良できないか。

A 道路課に相談する。地権者の了解をもらい、地区から申請して下さい。

㊦ ふれあいバスの利用者が少ないように思うが、少なくとも5年間は運行して欲しい。
蔵タクで市外に行けるように検討して欲しい。

A 執行部に伝えて、検討します。

㊦ 総合支所の機能が縮小するのは困る。住民サービスは地域の事をよく知っている人に
対応して貰いたい。

A 窓口での住民サービスは重要である。その辺の事を考えながら、合併で重複する施設
等の再編も考える必要がある。

㊦ 地域コミュニティーの中心である学校は残して欲しい。

A あらゆる方面からの十分な検討が必要
である事は理解している。

㊦ イノシシ対策を充分にして欲しい。

A 庁内に鳥獣被害対策チームを新設して
対応している。被害の深刻さは理解して
いる。



3班

㊦ 新斎場について、議員は賛成のようだが、今の斎場はどうするのか、遊楽々館
が近くにあるのに、斎場はいかなものか。

金額が安くなるではなくて住民が納得いくように説明するべきだ。市長は、一人でも
反対がいたらできないと言っていた。

A 理解がえられるように調整しているところです。

㊦ 小野寺地区の林道の拡幅を要望する。

A そのように要望している。

㊦ 今回の豪雨により河川が3カ所くらい崩れた。役所に連絡したが、役所は地主に確認
をしたが、連絡した自治会長には何も話がないので困る。

㊦ 小野小町、慈覚大師、村松神社は岩舟地域の観光スポットだから整備をお願いしたい。

㊦ イノシシ対策で、罠の免許をとった。罠には、お金がかかるので、補助してほしい。
小野寺地区に禁猟区があるが、猟ができるようにしてほしい。

- ㊦ 三杉川の河床さらいをお願いしたい。よしや竹がはえて川の流れが変わった。県も崩れた所の写真を撮りに来た。

○寺尾公民館 10月27日(火)

1班

- ㊦ 有害鳥獣対策について、補助金を受けたいが、イノシシ防御柵などを設置できる人がいない。

市は「丸投げはダメ」と言っているが、作業者の紹介をするなど、本気になって対策を講じるべき。

地域全員で協力して設置したいが山間部以外の人とは温度差がありなかなか協力を得るのが難しく組織化できないのが現状である。市としても設置に対する援助をお願いしたい。

- A 現在6団体が申請している状況である。市として最大100万円まで団体に補助するとなっている。

- ㊦ 河川等の整備について、星野地区は遅々として進まない。早く実施して欲しい。出流公民館から岡田石灰工場間の道路と河川の整備が全く実施されない。

- A 市に要望したい。

- Q 斎場整備について、候補地選定に関する現況はどうか。

- A 岩舟地域の南部清掃工場跡地に決定し、地元説明会を実施し理解を求めている状況である。遅くても平成30年までに整備をすることになっている。

- ㊦ 広域農道からセレモニーあすかまでの道路が狭隘であり、広くして欲しい。

- A 市に要望したい。

- ㊦ 寺尾地区の県道バイパスにおける、ダンプカーの交差点通過時の運転マナーが悪く危ない。

- A 地域の代表者の会議等において関係者に指導を要請する。

- ㊦ 防災無線が急に大きな音声が出るので、設置場所に近い人はびっくりする。

最初にチャイムなどを入れて徐々に大きくするなどの工夫がほしい。

- A 市に要望したい。



2班

- ⑤ 寺尾地区での災害により今後どのような危険が及ぶのか知っておきたい。
A 市では防災計画を策定しており周知していくようにしたい。
- ⑤ 避難勧告、指示の理解ができなかった。避難訓練を地区ごとに実施して欲しい。
A 防災組織を作っていく方向で地域を守る体制づくりをしてはどうか。
- ⑤ 今回の被害箇所について、市や県はきちんと把握しているのか。
A 市では道路等の状況は把握していると思う。
- ⑤ 永野川の河川整備がされておらず葦が腰より高くなっている。イノシシのすみかになっている。1日も早く対策を取ってほしい。
A 県には報告している。

Q 通学路にシカ、イノシシが出没するため下校時が危険、教育委員会は周知しているか。

A 看板をつけて危険を促しており、防犯灯の設置を依頼していく。

⑤ 人口減に伴い市として結婚の推進をして欲しい。結婚成立に向け議員も努力を。

A 市では婚活推進の事業を展開している。



⑤ 寺尾地区には医療機関がなく、ふれあいバスや蔵タクを利用しているが、蔵タクは慢性的に混んでいるため使い勝手が悪く不便である。
一日も早い診療所の開設を要望する。

3班

- ⑤ 水害の情報伝達について、屋外スピーカーが良く聞き取れなかった。
- ⑤ 自治会単位での情報がほしかった。
- ⑤ 避難経路の誘導伝達を考えてもらいたい。
- ⑤ 災害メールの配信をお願いしたい。
- ⑤ 寺尾南小学校の跡地利用について至急結論を出していただきたい。
- ⑤ 行政は、高齢者福祉に対するネットワーク構築の指導をお願いしたい。

- ㊦ 災害の際の市からの情報収集は一カ所に集約して欲しい。
- ㊦ 道路の凹凸がひどいので、補修をお願いしたい。
- ㊦ 寺尾地区の急傾斜地で整備されていないところの整備を要望する。
- ㊦ 旧県道の路肩に縁石やアスカブを設置して、道路の粉じん対策をお願いしたい。側溝内の土砂の撤去をお願いしたい。

○大平西地区公民館 10月28日(水)

1班

- ㊦ 関東・東北水害の際、避難所は大平隣保館では遠いので富田集会所に変更して欲しい。富田地区の排水溝の整備をしてほしい。床上浸水になると解った以上不安である。
A 執行部に繋げる。
- ㊦ 永野川の蔵井の水門にポンプの設置等の検討をお願いしたい。
- ㊦ 車が水没して、行政に電話したが、なしのつぶてである。
消毒を頼んだが、対応が遅い。
栃木市自治会長連合会の会議に、市長に出て欲しかった。

2班

- ㊦ 斎場の話が聞こえて来ない。どうなっているのか。着工を急いでもらいたい。
A 建設予定地が決まり、地元説明会も開かれている。一部住民の方の反対があり、建設に向けて、交渉中である。
- Q JR大平下駅のすぐ東側の踏切の拡張工事の予定は、その後どうなったか。
A 所管の課からご本人に連絡させる。

- Q 警察署跡地に美術館はできないのか。
A 警察署跡地に美術館は作らない。
旧市役所庁舎跡につくる予定である。
執行部、議会等様々な団体が協議して出た結果である。
警察署跡地は民間による開発を予定しているようである。

- Q 千塚町上川原産業団地の整備は順調に進んでいるのか。



A 順調に進んでいる。31年ごろに完成予定である。

㊦ 地域会議が大平地域の場合大きすぎないか。

㊦ 太平少年自然の家の代替施設を三毳山に整備するとの知事発言が数年前にあったが、ぜひ今の場所に建て替えてもらいたい。

㊦ 一般質問について、議員間で質問内容の重複が多い。調整をお願いしたい。

3班

㊦ 新大平下駅前西口再開発区域について、区画（道路のあり方）を含めた要望を出している。

A 議会にも8月に説明があった。道路についての要望は、要望書の内容を確認させていただきたい。



㊦ 関東・東北豪雨があったが、猿湊川の河川改修が必要ではないか。

A 今回の災害については、被災現場の復旧・検証がなされると思う。その検証に基づいて、河川等の改修についても要望をしていく事を確認した。

㊦ 災害で、被害調査の際、公用車が水没などで動けない事を考えると、特殊車両が地

域に1台あっても良いのでは。

A 非常に良い意見であるので、是非、執行部へ要望をする。

○第4地区コミュニティーセンター 10月28日（水）

1班

㊦ マイナンバー制度について、国による情報収集が目的ではないのか。国民に対して説明が少なく、時期尚早だったのではないか。

A 国の制度であり、市民にもメリットはあると思う。特に情報管理については、行政、企業等で厳重な管理を要望して行く。

㊦ 議場の傍聴席から議員が見えない。議場のモニターが見つらい。一般質問の時議場モニターに議長、質問者及び答弁者しか映らない。議員席も映すべきである。

A 要望として伺っておく、今後議会でも検討していく。

㊦ 電子表決システムによる評決の賛否が分かりづらい、以前のように起立による採決が良いのではないか。

A 議員の表決時の練習を徹底していく。

㊦ オリン晃電社の裁判の経緯と今後について、議会も百条委員会で調査したのに残念である。市民に対して説明があっても良いとおもう。

A 議会でも判決文を入手すべく努力している。公社は上告しており、議会において説明をされると思う。



㊦ 議会、議員の熱意が市民に伝わらない。

A 貴重な意見として伺っておく、他の議員にも伝える。

㊦ 栃木駅前に飲食店が少ない。

A 駅前の活性化について議会でも議論している。

㊦ 栃木駅前のモニュメントについて、栃木市を表現できる様なものに変えてはどうか。

A 駅前のモニュメントについては、今後調べておく。

㊦ 議会報告会の参加者が少ない。年2回開催し、今後も継続して欲しい。自治会長に連絡したのは良かった。

A 市民に対する周知方法を今後も検討していく。要望として伺っておく。

㊦ メディカルセンターについて、メディカルセンターとちのきに口腔外科がない。

A 口腔外科については、大学病院等にしか設置されていない。

2班

㊦ 議員は、出身地域のことを一般質問するが、地域の代表ではなく、市全域の代表であると自覚して欲しい。

㊦ 民生委員が75歳定年ということで、新たな委員の人選に苦勞する。何か良い方法はないか。

A 自治会、行政、議員で民生委員の定年年齢の延長や処遇についての協議をしても良いと思われる。

㊦ 民生委員が関わっている人の情報が自治会長に公開されないが改善できないか。

Q 足利銀行栃木支店を改築するが、景観要綱に適合しているか。

- ⑤ 消防団を中央小学校に集結させたが、各分団の地元に配置させてほしかった。
- ⑥ 水害時の避難所に関して再検討が必要ではないか。
- ⑦ 避難所に毛布等を備蓄しておいて欲しい。
- ⑧ 議会として市政への提案を積極的に行ってほしい。

3班

- ⑨ 栃木市は課長以上の管理職が、小山市や佐野市と比べて多い、もう少し減らした方がよいと思う。
A 執行部に要望していきます。
- ⑩ 予算の無駄を省き、安心・安全の地域をつくるため、地域の公園（栃木第二公園）などに防犯カメラを設置して欲しい。
A 防犯カメラの設置を市に要望する。
- ⑪ 災害の避難用物資を市内の避難所すべてに備蓄しておくようにお願いしたい。
- ⑫ ふれあいバスを自治医大に朝一便運行して欲しい。
A 執行部に要望したい。

○大平東地区公民館 10月29日（木）

1班

- Q ふれあいバスについて、昼間バスに人が乗っているのを見たことがないが事業が成り立つのか。
駅、スーパー、道の駅等人的の集まるところは、停車時間を長くした方がよいと思う。
- A 事業は成り立たず赤字です。2年に1回見直しをしている。交通弱者のために、始まった事業なので仕方ない。デマンドタクシーの説明もしました。



- Q 年度末になると、お金が、余っているのか、きれいな道路を直していると感じている無駄ではないか。
- A 仮舗装の箇所は、少し時間をおいてから、本舗装をしている。上下水道の工事等でするのかもしれない。新市になってから、出来るだけ早く工事等をするという考えなので年明けに工事をするのは少ない。

- ⑬ 大平中の東側の道路が凸凹している。マンホールが出ており危ない。

A 執行部に届ける。

㊦ 永豊橋の欄干がパイプによる仮復旧になっているが、そのまま良いのか。

A 県に要望書を提出する。

Q 横堀はまだ水道が引かれていない。何時ごろ引かれるのか。引く予定はあるのか個人としての意見だが、市の窓口は、もっと丁寧に教えて欲しい。

A 以前、水道を引く事に反対だった。確認する為にも、自治会長等と話し合い、要望書を提出するのが良い。議員も援助します。

㊦ 巴波川の土手の草が、左岸は下まで刈ってあるが、右岸は三分の一しか刈っていない。虫が酷いので、下まで刈って欲しい。

A 執行部に繋げて、県に要望書を提出する。



2班

㊦ メディカルセンターしもつがは、小児科の救急外来に対応して欲しい。

A その通りである。

A 市民の皆さんは、開業医のかかりつけの先生を作ることでもある。メディカルセンターしもつがでは、開業医と連携していきたいと言っている。

㊦ 議会は執行部寄りすぎないか。

一つの問題等について研究する特別委員会が必要ではないか。

3班

Q 関東・東北豪雨に関連して、永野川へ流入する水の対策は。

A 片柳町の遊水池の計画を説明をした。H33年には完成する為、それより下流域は軽減されることを説明する。

Q メディカルセンターは、一般の患者もかかれるのか、病院の形態は。

A 普通にかかれることを説明する。但し産婦人科については医師が揃わない事を説明した。

小山市民病院との違いも説明した。

㊦ 道路についていろいろと要望をしているが、いつになるか等の返答がない。

A その通りであり、要望についての返答や解答を出すように強く要望していく。

○吹上公民館 10月29日(木)

1班

Q 今回の赤津川の氾濫は川底の浚渫がされていなかったためではないかと思われるが、市の対応は。

A 市内の河川すべてに言えることである。執行部と共に県に対して要望をしている。

Q 今回の水害で長宮橋が通行止めとなっているが、今後の見通しは。

A 現在、業者に依頼し通行可能かどうか調査している。安全が確保されれば年内中に解除する。

Q 片柳市営住宅は今後どのようなになるのか。市では新たな計画をしているようだが。

A 水害を回避するために、市では水路の変更と貯水池の計画を示したところである。片柳市営住宅は廃止の方針と聞いている。

Q 吹上小学校の校庭が水害により使えなくなっている。いつから使えるのか。

A 10月21日の臨時会で、予算が可決されたので今後工事が進められることになる。

㊦ メディカルセンターしもつがへの案内標示板をつくってほしい。

A 市民に分かりやすい案内表示板が設置されるよう要望していく。

Q 医師の確保が出来なければ救急を24時間受け入れられなくなる。メディカルセンターの医師の確保はできるのか。

A 現在3つの病院から医師の確保を行っている。医者不足の中だが、確保のための努力をしていってもらおう。医師が病院に続けて勤務出来るようにするには、住民が医師との信頼関係を築くことも必要と思われる。

2班

㊦ 赤津川の河床さらいがしっかりできていないので水害になった。

A 一級河川であるので、県に要望していく。

Q 調整池があつたために、浸水してしまった。何のためにあるのか誰が水門を閉めるのか。電話したがたらい回しされた。

A 雨水を一時的に貯めるためである。問題点をチェックしている段階である。

Q メディカルセンターでも小児救急を24時間体制で受けるのか。

A メディカルセンターしもつがで対応する。



Q 大人の救急もメディカルセンターで対応できるのか。

A 対応できる。行ってもらわなければ困る。民間の病院ではあるが、市民の声を聞く病院であるべき。

Q 市職員が内部に入っているのか。33億円も払っているが。

A 民間の病院であるので、市職員は入っていない。実際には、周辺道路の整備等で33億円以上の税金が投入されている。

㊦ 子どもをしっかりと診てもらえないと若者離れにつながる。

A その通りである。新病院には小児科があるので対応できると思う。産科の設置も要望している。

㊦ 肉のふきあげの西の交差点は交通量が多いので、右折矢印の信号をつけてほしい。



3班

㊦ とちぎメディカルセンターは、大学病院等から派遣された医師が多いが、開院時、十分な人員が確保できるのか。また、市内に住み、地域のために貢献できる医師が確保できるような取り組みをお願いしたい。

A 議会では、具体的な医師の数については、承知していない。また、議会からも、産科などの開設について、強く要望していきたい。

㊦ とちぎメディカルセンターの受診の予約

は、電話でもできるよう要望してほしい。

A そのようにできるよう、要望をしていきたい。

Q 現在の下都賀病院の建物等はどうなるのか。

A 現在の病院の建物は取り壊しとなると思うが、その後の利用については、未定である。

Q とちぎメディカルセンターとちのきの診療科目はどうなるのか。新しい病院ができたのに、そちらに移ってくれといわれても困ってしまう。

A 安心してそのまま入院できるよう、要望していきたい。

Q 大学病院等では、紹介状がないとかかれないが、新病院では紹介状がなくともかかれるのか。

A そのようなことで要望をしていきたい。細かいことは不明であるが、紹介状がなくともかかれると思う。

㊦ 豪雨による赤津川の氾濫について、川底の土砂の堆積や、川岸の雑草の繁茂がその原因の一つではないか。川底の土砂の浚渫や川岸の草刈を県に強く要望してほしい。

A 赤津川は県の管理となるが、浚渫や草刈りなどについて、市からも県に強く要望するよう働きかけをしていきたい。

二度とあのような災害がおこらないよう、議会としても働きかけていきたい。

㊦ 近くを流れる二又川が関東・東北豪雨の際には、堤防すれすれまで増水した。以前は、地元の住民で川ざらいを行っていたが、今は行っていない。県の管轄となるかと思うが、県への要請をお願いしていただきたい。

A そのようなことで要望をしていきたい。

㊦ 大雨の場合は、水が道路に溢れてしまうと、避難したくとも避難所まで行けなくなってしまう。大雨による洪水を想定した避難所の設置と、避難経路の見直しが必要と思うが。

A 吹上地区で赤津川が氾濫したときは、まさにそのとおりであった。大雨災害の際の避難所、避難経路については再度見直す必要があると思う。

また、今後、十分検討し、よく市民に周知する必要があると考える。それを強く要望していきたい。

Q 川岸に雑草が大変多くはえていて、それが水の流れを阻害しているが、そのようなことを市では認識しているのか。そして、その状況を市内全域で調べているのか。

地元でも草刈りを行っているが、その成長に追いつかない状況である。

A 大水対策のため、草刈りや川ざらいは大切である。県の方にもそのようなことは働きかけをしていきたい。

㊦ 関東・東北豪雨の際、吹上地域の避難場所は吹上公民館であったが、途中で道路が冠水しており避難所に行けなかった。複数のケースを想定して、避難場所を設けるべきであったと思う。

A このことは、十分理解をしているので、市にもよく伝えておきたい。

㊦ 旧栃木第一小学校校舎の今後の利活用はどうなっているのか。公営の施設であれば、安く入れると思うので、公営の老人ホームなどができればよいのだが。

A 小学校の敷地には保育園を建設する予定となっている。

また、校舎については、耐震補強されているので、解体せず各種団体の事務室に利用する予定となっている。ただ今の発言については、要望として承っておきたい。



Q 旧栃木第一小学校の耐震の期限はどうなっているのか。また、その跡地の利用はどうなるのか。

A 耐震の期限については、特に、いつまでということはない。

市としても、旧栃木第一小学校校舎や敷地の利用については、構想はあるが、まだ確定したものではないので、市民にお知らせしていない状況にある。

Q 栃木市の議員定数は、他の市と比べて多いのか少ないのか。

A 議員定数は、県内の他市と比べると多い状況にあると考えている。今後、次回の選挙に向けて定数をどうするか検討をしていくことになると思う。

㊦ 市内の美術館については、現在の蔵の街美術館で十分ではないかと思う。新しい美術館を建設する必要はないのではないか。

4班

㊦ 赤津川等の河川の浚渫が必要である。今後少しずつでもお願いしたい。50年に一度の災害ではなく、環境の変化により、10年に一度とかもっと短い期間で起きると思った方がよい。

A 災害に強いまちづくりをしていかななくてはならない。河川の浚渫は必要なので、県に要望をしていく。

今までは、地震による災害だったが、水害に対して電気設備等を高所にするなどのインフラの強化を考えていかなければならない。

㊦ テレビで避難指示等が出ていたが、知らせ方の工夫をしてほしい。避難所の見直しが必要ではないか。

対策本部の早い対応を要望する。今回の災害を教訓にしてほしい。

A 同報系防災無線の整備を進めている。コミュニティーFMも開局する。避難所の見直しも必要と思う。

㊦ 土地改良区内の道路は、田植え時期等に農耕車優先にきかないのか。

A 難しいのではないかと思います。

Q 指定管理者による管理について。赤字の場合どうするのか。

A 赤字でも指定管理者が管理を行う。

㊦ 肉のふきあげの西の交差点、信号機に右折の表示を付けてもらいたい。



○静和地区公民館 11月4日(水)

1班

Q 保護者からの相談でこれまでアレルギーの生徒に対する学校給食は除去食で対応してきたが来年からは廃止になるということだと大変心配しているという相談を受けたがどのようなになるのか。

A 議会には説明を受けていなので確認したい。後日、本人に説明をして納得してもらった。

㊦ グラウンドゴルフ専用のグラウンドの整備をお願いしたい。トイレ等の整備も併せてお願いしたい。

A 市へ伝えたい。

㊦ 消火栓の廃止のお知らせが自治会回覧でまわった。道路も狭くて消防自動車も入れないところもあるのに廃止は大変不安である。廃止するなら道路の拡幅を早急をお願いしたい。

A 市へ伝えたい。

Q 現在の下都賀病院の土地・建物は今後どうなるのか。

蔵タクについて、危険な運転が目につく。もう少し安全運転に心掛けるべきだ。

A 下都賀病院については聞いていない。

蔵タクについては、担当課に伝えたい。

㊦ 議会報告会への参加者が少ない。広報活動にもう少し工夫をしたらどうか。

A 工夫をしているつもりだが、再度検討したい。

Q 防災ラジオは購入できるのか。

A 購入可能である。

㊦ メディカルセンターには、救急を全て受け入れて頂きたい。

㊦ メディカルセンターは補助金を受けているのだから、詳細について説明をするべきである。



2班

Q 議員定数については、どこで話し合うのか

A 第三者機関をつくり議論することになる。最終的には、議会で決めると議会基本条例に規定されている。

㊦ 地域協議会は地域住民の意見を吸い上げ、市政にいかしていく組織だと思うが、住民との話し合いの場がない。そういう場が必要ではないか。

A 現在の地域協議会は、市の行う施策について、意見を求められ、協議をしている。住民の意見を聞くことは重要だ。執行部に伝える。

㊦ 岩舟観光協会の理事になっているが、理事会(理事17名)を開いても3, 4名しか集まらない。活動もマンネリ化している。他の地域では、観光協会を商工会が担っていると聞いた。岩舟地域も商工会が積極的にかかわってほしい。市の指導もお願いしたい。

A きちんと運営できていないのは問題だ。まずは組織内の前向きな議論が必要ではないか。

㊦ 議会だよりを読んでいるが、誠につまらない。読む気がしない。なんとかならないのか。選挙の時の公約がどうなっているのか、議員個人も報告してほしい。

A 議会だよりは、スペースの問題もあり、これ以上の掲載は中々難しい。要望に沿えるように工夫していく。

議員の中には、議会報告会やチラシを作成して配付している議員もいる。合併して、地域が広くなり、議員の活動が見えなくなっているのかもしれない。

㊦ 自治会長をやっているが、市からの情報が多くて、すべてやるのは大変だ。旧岩舟町には「区制度」が残っている地域もあり、やり方を検討してほしい。

A 合併前は、区単位で活動してきたので、一気に解消するのは難しいと思う。どういったやり方が活動しやすいのか、地域まちづくり課とも協議する必要がある。執行部に伝えておく。

○大宮公民館 11月4日(水)

1班

㊦ 空き家対策を早急に進めていただきたい。枯草による火災が心配である。地主への通知や空き家条例に罰則を制定すべきである。

A 解体した場合の補助や固定資産税の減免を行っている。罰則を設けるように要望したい。

㊦ 新斎場候補地は、大宮地区から遠く、地元の住職が斎場までいかないとっている。

A 検討委員会において現在の場所に決定した。市長、執行部に伝える。

㊦ 大規模農家に助成金を多く出しているが小規模農家にも出ないか。

A 県、国へ要望していく。



㊦ 関東・東北豪雨を踏まえて、ハザードマップの検証をお願いしたい。

A 再検証を要望していきたい。

2班

㊦ 最近、大宮地区上空を低空で飛行機が大きな音を出して飛んでいく。怖い、騒音はなんとかならないのか。

㊦ 関東・東北豪雨災害は、大宮地区は少なかったが、赤津川が溢れるなどがあった。
ハザードマップを見直し、避難所設定等についても見直しが必要ではないか

A 言われる通りである。これまで災害が少なく、不備があったかも知れない。市民の皆様の声をよく聞いて、情報収集のやり方も考えて災害対応を今後考える事になると思う。

Q 議会改革で請願陳情などの改善とあるが、どのような事をしたのか。
集団検診等の検診の啓もう活動を積極的に行うべきである。

A 請願陳情の改善としては、提出者が常任委員会に出て主旨の説明を直接出来るようにした事である。

検診の件は執行部に提言したい。

㊦ 東陽中学校のプールの網が破れている。

A 現地を調査の上、対処します。

㊦ 大宮北小学校周辺の通学路が狭くて危険である。事故になる前に整備してほしい。

特に大宮北小学校からコープ間が特に交通量が多く危ない。

A 危険は承知している。各道路の拡張計画もあるが地権者の権利があり、拡張道路の土地取得が出来ないケースが多くて、なかなか進まないのが現実がある。



3班

Q とちの木病院に雇っている人は、しもつがで雇れということか。

A メディカルセンターとちのきに雇われる。

㊦ 陳情を採択しても効果が感じられない。それよりも市独自の問題について議論した方がよいのではないか。

㊦ 吹上の赤津川のそばに親戚がおり、床上浸水をした。市の職員が毎日、ボランティアと共に出向き、濡れた畳を運んでくれた。若い人に10人以上きてもらって助かった。
巴波川の河床の土砂をさらってもらいたい。

A 現地を確認して、県に要望します。

⑤ 新栃木駅南側の踏切の渋滞が激しいので、渋滞を緩和する対策をお願いしたい。

○岩舟公民館 11月5日(木)

1班

Q 最近開局したFMくららがよく聞こえない。聞こえない場所を市は把握しているのか。

A 5、6%聞こえない場所があると理解している。市も分かっていると思うが、なんとか全地域で聞こえるようにする方向で検討するように伝える。

⑥ 慈覚大師・円仁の顕彰記念所に看板をきちんと取り付けて欲しい。当初はあったが、壊れたため撤去された。教育委員会に要請したが予算不足を理由に断られた。なんとか検討していただきたい。

A 教育委員会に要請する。

⑦ 防災無線が良く聞こえない。午後5時に音楽が流れる事はいい感じであるが。

A 調査して良く聞こえるようにしたい。

⑧ 敬老祝い金が80歳以上1,000円は少ない安い。3,000円程度に増額をお願いしたい。

又、高齢者の名前を教えてくれない。

A 合併前は支給されていない地域もあり、合併で統一された。

高齢者の名前はプライバシーの問題で教えない事になっている。



⑨ 関東・東北豪雨による被災が多かったが、支援・復旧のみでよいのか。安全対策を検討すべきだ。

A その通りである。栃木地域の片柳市営住宅が全面的に浸水した。ここは住宅を廃止して調整池にする計画がある。又、巴波川の早急な浚渫も必要だ。ハザードマップも見直さなければならない。

Q 国道50号線岩舟小学校前で普通車の自損事故があり、コンビニから119番通報したが、なかなか救急車が来なかった。岩舟分署からなぜ来ないのか。藤岡方面から消防車、救急車は佐野方面から来た。

A 調査して、どのような経過だったのか報告する。

Q 岩藤大規模開発はどうなったのか。開発の対象地域に太陽光発電施設が建設されようとしている。

A 市の都市計画には記載されている。今後具体化していくと思う。

㊦ 広報とちぎは大き過ぎる。綴じやすいように工夫できないか。

A とても良い提案だと思う。担当部署に連絡します。

2班

㊦ ふれあいバスはほとんど乗っていない。マイクロバスではなく、ワゴン車でも良いのではないか。運転手が一人でドライブしているようだ。ハイブリット車みたい良い車もある。なくては困る。時間によって小さい車でも良いのではないか。

A 導入したからには、いかに活用するか、考えなくてはいけない。路線見直しも今は、試行的にやっている。陸運局に年1回、乗車数や利用頻度の報告する。最初から小さいのはない。活用頻度によって変わる。皆さんが利用してくれないとなくなる可能性もある。

Q 合併した岩舟地域がどうあるべきか、どうしていくのか

A 1年半がたち、岩舟地域を含めた都市計画が作成された。地域の発展をめざし、岩舟地域は大規模開発、曲ヶ島の工場誘致、岩舟駅、静和駅の周辺開発が計画に載ったので、具体的に提案していきたい。栃木市ならではのものを、行政に提案していきたい。都賀インターはあるが開発しづらい。県南地域は、西に行くと工業団地が多い。発展する余地がある。

Q 岩船山周辺の産廃処分場にはどんなものが入っているのか。

A 人が手ごわくて、土砂等も何が入っているのか、わからない、裁判になるかと思う。

Q 岩船山周辺の産廃処分場には何が入っているのか。

A 個人所有の土地なので、我々が行っても解決できない。合併前からの問題だが、何が入っているのか、わからない。農家の方が困っている。



㊦ 合併当時優先順位をつけたから是非やってもらいたい。

Q ごみ出しサポートができた。申請した状況は増えると思うが、平成26年岩舟の申請数はどうか。

A 増加していると思う。

Q 自治会の自主防災組織を立ち上げたいが、行政はどこまで手を貸してくれるのか。

A 設立に20万円、組織づくりは地元で行わないといけない。

○国府公民館 11月5日(木)

1班

Q とちぎメディカルセンターの産科の話があったが、開業医を圧迫するようなことにならないか。

A 女性議員の会でも勉強している。宇都宮の済生会病院では、助産師を中心にお産をしている。現在、市民アンケートの最中である。民間を圧迫することはないと思う。

Q とちぎメディカルセンターは、回復期、慢性期、療養病院と分かれているようだが、風邪をひいたときなどは、今までどおりとちのきに雇われるのか。

A とちのき、しもつがどちらにも雇われる。

㊦ 消防団員の成り手が、大光寺自治会にはいなく毎年苦勞している。今後、市として区割りの変更等、対策は考えてはどうか。

若者が出ていかないような産業等、魅力がないと守っていけない。ぜひお願いしたい。

A 消防団員不足は、議会でも話題になる。消防団員の待遇等を考えなければならない。市全体の問題として話し合っている。

産業団地については賛否両論あるが働く場所が必要である。交流人口、リノベーション事業、中心市街地活性化事業等取り組んでいる。

㊦ 栃木市の警察署跡地、旧栃木市役所を売却するようだが。

栃木の総合運動公園の体育館は人気で予約がとれない。

街に人が集まるような施設を造って、市街地の活性化を。

A 旧市役所跡地は美術館を整備し、警察跡地は民間の力で開発する。

体育館が人気で予約が取れないというのは、意見を持ち帰りたい。

嘉右衛門町伝建地区のみそ蔵を市で購入した。

Q 栃木市は税金が高いと聞くがどうなのか。

A 合併の時も話があった。一概にそうとは言えない。

Q 合併のメリットは。

A 負担を増やさずに、サービスを維持する。

合併のメリットはこれからでてくる。総合支所も今後縮小される。



2班

㊦ ふれあいバスが惣社工業団地内を通っている。高齢者には乗るのが困難である。もっと住宅地を通ってもらえないか。乗降しやすい場所にしてもらいたい。

A 蔵タクの利用を勧める。みんなで要望をすると良い。

要 蔵タクは利用登録していないと利用できない。敬老会等、特別な時だけ利用できないか。敬老会の際に班長の送迎が大変である。

A 吹上地区も同じで自治会ごとになった。良い知恵を出してもらいたい。長寿園を利用する時は、福祉バスを利用している。

Q メディカルセンターしもつがの新病院ができるが、ふれあいバスは病院に行くのか。

A 各病院を巡回するバスはない。ふれあいバスの経由地になると思う。蔵タクに登録すると良い。

Q メディカルセンターの医者は増えるのか。どういう病院を目指すのか。産科はどうなるのか。

A 二次救急を目指す。各病院において、急性期、回復期、老人福祉施設というように役割分担をする。しもつがにおいて救急を受ける。産科は医師が確保され次第行う。

Q 栃木市から33億円の補助をした、メディカルセンターと市の関係は、市にチェック機能はないか。

Q 医者が揃うかが心配である。独協医大も医師不足である。慶応、順天堂も引き上げた。

A 将来にわたって、医者不足解消は県が行っている。高齢社会になれば医者不足は必然である。

要 学童保育で待機児童が出つつある。場所の確保、設備の充実を図るべきではないか。

要 介護保険料は働いていない人の負担が大変である。年金から引かれると大変困る。

A 所得により9段階に分かれる。所得の無い人は大変である。

要 働く場所を増やし、若者の多く住む町にする必要がある。

要 議員の報酬を上げるべき、議員になる人がいなくなる。



3班

要 都賀、大平地域では、農道までアスファルト舗装になっている。国府地区の農道はほとんどが簡易舗装であり壊れやすい。通学路でもあるので早急なアスファルト舗装による修繕をお願いしたい。関係職員は見に来てほしい。去年も話しています。

A 担当課に伝えます。

㊦ 議会報告会での報告事項は、直近の9月議会が多いように思う。他の定例会での重要と思われる案件を報告会で報告した方が良い。

A 今後検討します。

㊦ 国府北小通学区域は若い世帯が多く児童数も増えている。学童保育を利用している生徒も多い。国府南小の学童保育を利用している生徒もいる。今後も学童保育を利用する生徒は増える。空き教室を利用するなどの解決策を考えていただきたい。

A すでに一般質問をしておりますが、執行部に伝えます。

㊦ マイナンバー制度が導入されるが詳しくは解らない。市としても、広報活動を行うべきではないか。

A 国の施策であるが、市の広報紙を通じてもっと広報活動を行うように伝えます。

Q 国府南小の児童数が少ないのに驚いている。今後小学校の統廃合や通学区域の変更は考えているのか。

A 児童数が少ない小学校に関しては、小規模特認校制度を設けて、他の通学区域から児童を受け入れるなどしている。小学校の統廃合や通学区域の変更は教育委員会において検討中である。

㊦ 山田うどん店の西側の空き地に、老人が集まれる公園を作っていただきたい。

A 担当課に伝えます。

○大平南地区公民館 11月6日（金）

1班

㊦ 蔵の街大通りには日陰がなく夏暑い。蔵の街にふさわしい街路樹を植樹してはどうか。

㊦ 関東・東北豪雨の時、情報が入らず不安だった。防災無線、FM放送も始まったが、サイレンなどの分かりやすいものを流すべき。

㊦ 警察署跡地を大型バスの駐車場として開放すべき。観光推進しているのであれば普段から開放すべき。

㊦ 大平南地区公民館に管理人がいなくなり、利用申請が教育支所になり不便である。以前のようにできないか。

㊦ 大平中学校の通学路である磯山地区に防犯灯を設置して欲しい。

A 自治会長を通して、要望して欲しい。

㊦ からくり時計の設置について、市が負担して実施すると聞いたが、経費がかかり必要と思わない。

A からくり時計の設置については、まだ決定していない。

⑤ 消滅可能性自治体や高齢化率など栃木市の将来に不安を感じた。自分の住む地域も 1 1 世帯中 5 世帯が単独世帯である。少子高齢化対策を重点に考えるべきである。財政も厳しいおり、歌麿やからくり時計は必要ないのでは。

⑥ 来年の参議院選挙から 18 歳で投票できるようになる。若者の政治参加のための政策が必要ではないか。

⑦ 市役所の駐車場は、使い勝手が悪く不便である。空き状況がすぐわかる様な対策を取って欲しい。



2班

Q 今後、高齢者が増えてくる。介護を受けられるのか不安だ。

A 介護保険第 6 期計画で施設の増設を計画しているが、入所者も増える傾向なので、希望通りにはいかないと思う。政府は、在宅での介護へシフトしている。介護保険あって介護なしの状況となりかねない状況である。自治体としても対策を講じるべきと思う。

Q 茨城県で、電気を切られてロウソクで生活して火事になり、3 人が死亡した事件があった。

こうした悲惨な事件を起こさないために、栃木市は東電と連携の協定を結んでいるのか。

また、郵便局、新聞店などと協定し、郵便物がたまっていたら、連絡するシステムを作ってはどうか。

A 東電とは協定は結んでいないと思う。

郵便局、新聞店との協定は良い提案なので、市の方へ要望する。

⑧ 歩道橋などに企業広告の看板などを設置させて宣伝料を取ったらどうか。

A 栃木市でもホームページのバナー広告について宣伝料を取っている。歩道橋については今後提案したい。

Q 関東・東北豪雨で永野川の橋が落ちた。復旧はどうなっているのか。

A 復旧できる見通しとなった。



Q 防犯灯の設置を要望したいが、どのようにしたらいいのか。

A 年度初めに、自治会を通して申し込むことになっている。

要 人口減少は深刻な問題である。出生率向上のため、子育て支援などを充実させるべき。

A 「産めよ増やせよ」という強制はできない。子育て支援などを充実させ、その結果として、出生率が上がるのではないかと思う。

また、非正規など低賃金の若者が増え、結婚できない、子どもを産めないという社会になっている。ここを変えないといけないのではないか。市としても独自の支援はしている。

要 O—157号線と蛭沼川連線の交差点の信号の点滅時間を変えてほしい。点滅時に事故が起きたことがある。

カインズモール付近の渋滞がひどい、時差式信号にするなど改良してほしい。

A 信号の管理は警察なので、要望していく。

○第5地区コミュニティセンター 11月6日（金）

1班

要 メディカルセンターについて、今後も議会で注視してほしい。

Q メディカルセンターしもつがに通院しているが、今後も通院できるのか。

A 通院は可能である。

要 メディカルセンターしもつがに産科が欲しい。

A 各地域で要望されている。女性議員で助産師による出産、医師確保に向けて要望していく。



Q 今、下都賀病院に通院しているが、今後も通院できるか。

A メディカルセンターしもつがに通院できると思う。

Q メディカルセンターの診療科目が心配である。

A これで確定ということではない。

要 地域の小さな祭りにも補助金を出してほしい。

A まちづくり協議会で要望して欲しい。

要 十二社神社脇の側溝に土砂が堆積しており大雨で溢れた。道路課に要望したが、実施して頂けない。

A 担当課につなぐ。

㊦ 荒川と巴波川の合流地点に土砂が堆積している。今後を考えると早急な対応が必要である。

A 管理者である県に要望していく。

㊦ 道路の傷んでいる箇所がある。高齢者や子どもたちの安全対策をして欲しい。

A 行政も努力している。議会として要望している。

2班

Q 下都賀病院の入院患者にメディカルセンターへの移行の話し合いはされているか。

A 新病院への移行について話し合いはされている。

Q 下都賀、医師会両病院の入院患者は4月以後どうなるのか。

A 同じ病院のままの人もいれば、他の病院に移る人もいる。

Q 産科の設置はできないか。

A 産科の医師の確保が難しく現時点ではできない。今後考えたいとの回答があった。

Q 市外からの患者が増加し、地元の患者が入院できないのでは、地元優先にして欲しい。

Q 下都賀病院の跡地はどうなるのか。地元のことで使用できないか。

A まだ未定である。

Q 旧第一小学校の跡地など多くの市有地が空き地になっているがどうにかならないのか。

A リノベーション事業という中心市街地活性化の為の施設整備を国の助成金を利用して行う予定であり、第一小学校跡地、旧市役所庁舎、警察署跡地などが対象になっている。

Q 片柳町、菌部町の水害の今後の対策は。

A 排水路及び片柳市営住宅に遊水池を整備する。2040年まで21億円の予算で改修していく。

㊦ メディカルセンターとちのきの南側の巴波川に草が繁茂している。除草して市民に開放してはどうか。

㊦ 新栃木駅から嘉右衛門町伝建地区まで道路の無電柱化をお願いしたい。

㊦ 片柳町において、遊水池の案が示されたが、永野川の河川改修しない限りポンプによる排水には無理があるのではないか。

Q 新斎場整備の進捗状況はどうか。

A 4つの候補地から岩舟地域の南部清掃工場跡地に決定し、地元説明会を行っている。

3班

㊦ 災害対策として、巴波川の綱手道を上流に延伸して欲しい。

A 綱手道を上流に延伸する様提案する。

㊦ めかり沼川の河川改修をお願いしたい。

A 川底の掘削等を提案する。

㊦ 箱森土地区画整理地内、20軒増えるとゴミステーションを設置すると聞いているが。

A ゴミステーションの設置を要望する。

㊦ 災害時における避難所の対応が悪い。避難所について分かりやすいように標示して欲しい。

A 執行部に要望する。

Q メディカルセンターしもつがの駐車場は十分確保できているのか。

㊦ 関東・東北豪雨で栃木蔵の街郵便局付近の側溝が詰まっているので清掃をお願いしたい。

A 側溝の清掃を要望する。

○藤岡遊水池会館 11月11日(水)

1班

㊦ 災害時に市と消防団との連携が上手くいっていない。もっと連絡を取り合い、災害に備えて欲しい。

A 更に連携を図り、災害時に備えるようにしたい。

Q 今回の水害の際、消防団員などが使用する軍手や無線機がなく個人の携帯電話を使用した。そのような予算はどうなっているのか。

A 市もしっかりと把握して行きたい。

㊦ 消防団に入っており年間100日程度活動しているが、忙しくて存続が難しい。

A 負担がかからないようにしていきたい。

Q いろいろな補助金などをきちんと市民に公

A 公開していくように市に要望する。



Q 母子手当などの補助金はどのようになっているのか。

A 市のホームページに詳細は掲載しております。

2班

Q メディカルセンターにヘリコプターを常備できないか。

A メディカルセンターに要望する。

㊦ 西前原排水機場のポンプは修繕されたのか。

ラムサール条約に登録された渡良瀬遊水地の利活用について、県内2市1町がもっとまとまって活動して欲しい。

A 西前原排水機場のポンプは仮復旧した。
遊水地の件は執行部に要望する。

㊦ 渡良瀬運動公園が休日の翌日使用できない。利用できるように検討を。

㊦ ふれあいバスについて、学生専用にする等の見直しをしたほうがよいのではないか。

㊦ 蔵タクの利用者数を増やすための対策をお願いしたい。

㊦ 三杉川の復旧を早急をお願いしたい。

A 執行部を通し、県に要望していく。

㊦ 三毳山の松くい虫対策の強化をお願いしたい。

A 執行部に要望していく。

3班

㊦ メディカル病院の医師の確保は、大丈夫なのか。優秀な医師が来てほしい。
藤岡のまちおこしを考えてほしい。合併して、置きざり感がある。
蔵タク、ふれあいバスの利便性を検証してほしい。

A 医師確保に努力をしていく。

Q マイナンバーについて、セキュリティは
大丈夫か。

A 大丈夫です。

㊦ 藤岡駅前整備事業が進まない現状を、ど
う考えているのか。



Q 藤岡地域の市営住宅は、老朽化が進んで いるが今後どうするのか。

A 退去したら、解体し更地にする予定である。

Q ごみ収集のルールを守らない人があり、未収集のゴミの片づけに困っている。自治会、班としても、悩んでいるが、何か良い方法はないものか。

○都賀公民館 11月11日(水)

1班

㊦ 国では「まち・ひと・しごと」と言っているが、栃木地域では農商工連携が出来ていないのではないかな。

A 他の地域と比較して、事業が一緒にできないのは、連携不足と思われる。他の地域からも指摘してほしい。

㊦ 土地改良区のポンプなどが老朽化したが、維持管理適正化事業の市の負担割合を増やしてほしい。

A 議会としても一般質問などで要望している。今後も努力していきたい。

㊦ 昨年度と比べ市債の予算が増えているがどうしてか。市債を増やさない様、予算編成すべきではないか。

A 小・中学校の建設等により市債が増加した。市債を増やさないように、行政、議会、市民が一緒に考えていかなければならない。

㊦ 都賀インターから小山市に行くバイパスの早期実現をお願いしたい。

A 県、市に対して要望していく。

2班

㊦ ベリーナイスのアーチが老朽化しており危険である。通学路（家中小学校）農道から西に入る箇所の交通規制はできないか。

雷電橋付近、右折ゾーンがないので付近の旧道路が抜け道になっていてゴミ出しも怖い状況である。

インターを降りた道路が早く開通して欲しい。

A 道路整備の要望は、各地域から出ている。栃木市全体の主要道路の計画はできているが、生活道路に関しては、地域間のバランスと緊急性を考慮して進めている。市民の皆さんからの声を大切にして、取り組みの必要な場所について執行部に伝え、要望していきたい。

Q 栃木市の防犯カメラの設置状態はどのようになっているのか。

A 防犯カメラの設置については、議会でも賛否両論があった。栃木駅周辺には設置されていることは認識している。

ゴミの不法投棄については24時間常時監視カメラが設置されて、あわせてダミーの

防犯カメラも設置されています。

Q 防災無線はどこに設置されるのか。家の中にいると聞こえないのではないか。

A 都賀では小学校等に設置される。

Q 竜巻の被害にあった経験がある。がれきの撤去の際、指定された場所に搬入したら土曜日は受け付けないと言われ、現在も家の前にそのままにしてある。

有事の際には、土曜も日曜も受け付けてほしい。

A 今回の豪雨災害では受け付けている。

○赤麻地区公民館 11月12日（木）

1班

Q 今回の水害で壊れた、県道藤岡乙女線の歩道の災害復旧はいつごろになるのか。

A 12月に発注し、年度末には復旧の予定である。県も予算を確保し、設計をしてからでないと発注できないので時間がかかる。

Q 西前原排水機場のポンプが停止した原因は何か。

A ポンプの処理能力以上の降水量だったため、建屋内に水が浸入し、漏電により停電したためである。

Q 今回の災害により水道が断水した。水道が復旧したが中途半端であるがどういうことか。

A 西前原の給水施設が水害により給水を停止した。大平地域などから手配したため水圧が低下しており不安定になっている。

Q 陳情は、よく議論した結果の採決なのか。

A 常任委員会等において議論した上での結果である。

㊦ 議会改革を積極的に行っていただきたい。

㊦ メディカルセンターに産科を設置できないのか。

A 全国的に産科医が不足している状況である。今後助産師の活用も提案していきたい。

A 現状で十分かもしれないのでその辺の検討が必要である。

2班

㊦ 都市計画税が高額で年金生活者には負担が大きい。なんとか軽減してもらえないか。

A 財政が良くなれば可能かもしれないが、合併による調整中なので難しいと思う。



㊦ 藤岡は一とらんど保育園付近の道路整備を早急にお願いしたい。

A 整備を要望したい。

Q 関東・東北豪雨でとちぎメディカルセンターの3病院に被害はあったのか。

A 被害はありませんでした。

Q 議長、副議長及び監査委員は発言できないのか。

A 常任委員会ではできるが、一般質問はできない。

Q メディカルセンターにはこれ以上負担するのか。

A 話があれば今後協議することになる。

㊦ 栃木市が71%を占める渡良瀬遊水地を小山市のようにもっと有効活用できないか。

A 国などと連携しながら力を入れたい。

○赤津小学校体育館 11月12日（木）

1班

Q 大柿保育所跡地を商工会に貸し、大垣地域でそばを販売して地域を盛り上げている。取り壊して、今後どうするのか。

A 大柿保育所の跡地についてはこれから考えていく。

㊦ この地域には、罨免許を取った人が5名いる。箱罨は補助対象だが、くくり罨は対象外である。くくり罨も補助してもらえないか。

A くくり罨にかかわらず、鳥獣被害に対する予算は、27年度は26年度より4倍増加した。個体数を減らすために要望していく。

Q 関東・東北豪雨による土砂崩れ箇所について、細かい箇所も行政は調査しているのか。

A 市は調査をしているが、住民からも情報を頂きたい。

㊦ 災害の被害状況を見るだけでなく、その箇所の対策を考えるべきである。なぜ栃木市内が浸水したのかを検証して欲しい。

赤津川の栃木地域が氾濫したが、現在の基準に問題があるのではないか。

A 全くその通りである。災害を起こさないための対策を取り組んでいく。

㊦ 避難場所をきちんと知らせしてほしい。大柿コミュニティーセンターには避難できない。

A 避難場所が大柿コミュニティーセンターで良いのか検証していきたい。

2班

Q 来年4月の組織改編で総合支所の機能が縮小されると聞いているがどうか。

A 本庁に統合する部分はあるが、市民サービスに支障がないようにすると聞いている。



Q 西方地域に温泉施設ができると聞いているが。

A 栃木市北部に健康センターがないことから、民間が開発した温泉を活用した健康センターの設置を予定している。

要 赤津小の校庭の水はけが悪くなっている。校庭の改修をお願いしたい。

A 教育委員会に調査をお願いしていく。

要 土地改良による整備の際、反対者がいて道路拡幅が出来なかったが、地権者の賛同が得られたので拡幅をお願いしたい。既に市に要望している。

A 要望箇所が多く、実現に至っていない。今後更に要望していく。

要 人口を増やすためには、企業誘致が必要ではないか。

A 宇都宮西中核工業団地への誘致を図る。また、千塚町上川原産業団地の造成工事を行っており、平成29年度ごろから販売できる予定となっている。

3班

要 関東・東北豪雨において赤津川が氾濫した。河川改良により永野川に通じたが、吹上地区は冠水した。赤津地区の避難所は、大柿コミュニティセンターだが、木地区は木コミュニティセンターにしてもらいたい。

赤津川の河床ざらいを要望したい。

A 吹上地区は床上浸水でひどい状況だった。県管理なので県に要望する。避難所についても今後検討していく。

要 避難所が大柿コミュニティだった。川を二つ越えなければならない。家にいた方が安全で良いということもある。

A 避難所は安全な所に設置すべきである。強く要望をしていく。

要 赤津川の河床ざらいをお願いしたい。

A 河床ざらいを要望していく。

Q 災害時の市と自治会の連絡網の構築等のモデルがあれば教えていただきたい。

A 自治会との連携、モデルがあれば広げていけるように。

要 ひばり野学園に被害があった。地元の住民がどこに避難したら良いか、自治会の中でも取り決めが必要だと思う。

A 対応してもらえようをお願いしたい。

㊦ メディカルセンターに産科がない。子どもを安心して産める場所を早急をお願いしたい。

市は３３億円の補助金を出したが、支出したままで良いのか。

A 病院は赤字になるところが多い。

市としても良い経営内容になるように、市の追加の負担がないように、産科についても出来るだけ早く設置できるよう強くお願いしていきたい。

㊦ メディカルセンターについて患者の立場にたった病院経営をお願いしたい。

患者をないがしろにした経営はやめてほしい。

A メディカルセンターが良い病院になるように議会でも要望していきたい。

Q 県道栃木栗野線の歩道問題の富張の先はどんな状況になっているのか。木の枝がおおってトンネルのようなどころがある。

A 事故が起きてからでは遅い。県に強く要望していきたい。

○皆川公民館 １１月１７日（火）

１班

㊦ 皆川地区公民館に避難したが、段ボールと毛布で避難者が凍えていた。おにぎりや汁物を持っていったら喜ばれた。避難所に毛布等の備蓄が必要である。

A 今回は広報車が回った。ここに７０名避難した。１２月定例会の一般質問において、避難所に毛布等を備蓄するように要望する。

Q 農業被害に対する補助金などについて、どうやって知らせているのか。

A 自治会回覧、新聞折り込みチラシ等で周知している。

Q マイナンバーはどのようなものなのか。

A 個人の資産を国が管理しやすくするためのものである。

㊦ 避難情報等が皆川地区の末端にいくようお願いしたい。

A 聞いていたかどうかは別にして避難所の情報は早かった。

Q メディカル職員の駐車場はどうするのか。

A 病院の西側に職員の駐車場をつくっている。

㊦ 防犯カメラは皆川に設置しているのか。都会より田舎の方が子どもが危ないから事件が起きる前に学校などに設置してほしい。

Q 昔にも水害があったが地区ごとの対応はどうか。

A 地区ごとに、防災マップをつくるように提案します。自主防災組織設置だと思う。

2班

Q 皆川公民館に通じる道路の改修はいつごろか。

A 現在検討中だが、買収が済めば4から5年で改修になる。

Q 関東・東北豪雨の際、鹿沼市職員は市役所に集まったようだが栃木市の職員は集まったのか。

A 集まったと聞いています。



㊦ 自宅付近の県道が崩れた。市に修理を頼んだが、県の管轄と言われた。市民は県も市も関係ない。早期に対応して欲しい。

A 県の許可は出ている。県が対応すると思います。

Q 空き家が多く、将来が心配である。

A コンパクトシティーを目指し対策を練っている。

Q 下都賀病院の跡地はどうなるのか。

A 現在検討中である。

Q 耕作放棄地への課税はされるのか。

A 課税はされる。

3班

㊦ 子供の通学路が狭くて危険なところが3箇所ある。拡幅をお願いしたい。場所については地元の議員が知っている。

A 執行部に要望する。現地を確認する必要がある。

Q 皆川地区も人口減に悩んでいる。住宅が建たない。自分の家の周りに子供の家等を作りたいが建てることが出来ない。なんとかならないか。

A 増築、新築について、道路がないと建設できないことになっていると思うが、分家住宅について確認したい。

㊦ 山に近い住宅では土留壁がないと家の建設が出来ない。市からの支援が欲しい。人口減の対策でもある。

A 市の方に要望する。

㊦ 永野川西側の地区は高齢化に伴い、農地の耕作放棄地が増加している。また、イノシシ被害もある。土地改良区画整理することによって農用地として使いやすくなる、土地

改良を要望したい。

A 執行部に伝える。

㊤ 農家の後継者不足は深刻だ。農家がやる気のあるような農業政策を求めたい。

A その通りである。そのような方向を目指す必要があり、執行部にも伝える。

㊤ 市役所トイレをウォシュレットにした方が良い。特に子供は自宅と違うと我慢してしまう。子供の為にもトイレの暖房便座付きウォシュレット化が望ましい。

A 執行部に伝える。

㊤ ふれあいバスの定期券代が200円区間は1ヶ月8,000円になり高いと思う。安くないか。

A 高いと思う。執行部に伝える。



○真名子夢ホール 11月17日(火)

1班

Q 真名子小学校は統合されるのか。

A 国の方向としては学校の適正規模、学校再編を求めている。議会も視察研修をするなど、学校再編の長所、短所等について研究をしている。執行部からは、まだ何も具体的な話はない。

㊤ 赤津川につながる河川の一部に、土側溝のある民有地の梅林を通っている河川がある。関東・東北豪雨の際、周辺に被害が及んだ。改善をお願いしたい。

㊤ 岡川の補修工事と河川内への倒木の後始末についてお願いしたい

A 県へつなぐ。

㊤ メディカルセンターしもつがは救命センターとしての対応をしていただきたい。

㊤ 獣害対策も引き続きお願いしたい。

2班

㊤ 合併後地域サービスがかなり低下している。地域サービスを低下させないでほしい。ふれあいバスの停留所が集落から遠い。見直しをしてほしい。

A 執行部に要望します

㊤ サイクリングマップがあるが、鹿沼市と連携を図って、観光の発展を考えた方がよい。

A 観光の発展性を考えて、執行部に要望をだします。



㊦ 赤津川の関根橋の周辺が今もそのままになっている。中高生の通学路なので、大至急直してほしい。

A 行政に知らせる。

㊦ 真名子地区の木嶋商店真名子SS西側の街路灯が壊された。3ヶ月も経っているのに、直していない。直してほしい。

A 行政に知らせる

㊦ マニフェストにあるサイクリング道路にしようとしている所はすぐ直すが、困っている人がいる道を直さない。強く要求する。

A 行政に知らせる。

㊦ 河川敷の除草剤散布が大変である。市において3回に1回ぐらいやってもらえないか。

A 市の河川課に行くといよい。

3班

㊦ メガソーラの設置に対し安全に対する条例制定をしてはどうか。

A 設置要綱がなく、建築指導していくということである。条例制定も議論されると思う。

㊦ 通学路なので電磁波に対する指導を徹底して欲しい。

Q 救急搬送がメディカルセンターしもつがになると西方から遠くなる。

A 西方から遠くなるが、救急搬送時はかかりつけ等も判断するので全てメディカルセンターになるとは限らない。

Q 救急搬送はとちのき病院が罹りつけだとメディカルセンターしもつがになるのか。

A 救急センターを何か所も作れないという事情もある。

㊦ 西方地域からメディカルセンターに直行するバスをお願いしたい。

A 議会からも要望するが、自治会長からも市に要望をしたほうがよい。

㊦ 真名子地区の栃木栗野線で地権者が反対をして道路が拡幅できてない所があるので、市議会ですうにかならないか。

㊦ 真上地区の逆川の沢に土砂が流入して、二次災害の危険がある。優先順位があると思うが対応をお願いしたい。

㊦ スマートインターについて、積極的に推進していただきたい。

A 執行部に伝えたい。

○西方公民館 11月20日（金）

1班

㊦ 宇都宮西中核工業団地に産業廃棄物処理場ができるが反対である。

㊦ 食品会社が工業団地に入っているのに産業廃棄物処理場が造れるというのはおかしい。

㊦ 議会にも災害対応について頑張っていたきたい。

A 議会も大いに関心を持っており、12月定例会では9名が関東・東北豪雨について一般質問を行う予定である。

Q 長徳寺に行く橋付近の用水路が土砂で埋まったがどうすればよいのか。

A パトロールで見落とすということもあるので、市に伝えた方がよい。

㊦ 西方城址におけるイノシシ対策をお願いしたい。

㊦ 西方ふれあい広場のイノシシ対策等の管理をお願いしたい。

A 行政に伝えていきたい。

2班

Q 来年総合支所がなくなると言う噂がある。

A 総合支所は無くならない。50人が35人になる。二重行政の解消を図る。本庁機能を強くしていく事により総合支所の役割は集約する事となる。

Q 関東・東北豪雨の時、市からの緊急指示が全く聞こえなかった。

FMくらは、本当に機能できるのか。

A 災害危機管理課が緊急メールを徹底する。FMくらはには要望をします。

㊦ 金崎から小倉関までウォーキングをしているが、一カ所だけ整備されていない所がある。

A 下都賀農政事務所と栃木土木事務所に針谷議員から要望してもらう。

Q マイナンバー制度にすると、どれ位、人員削減、経費削減、節約できるのか。

A 国の制度なので市では、把握出来ません。

Q スマートインターチェンジの進捗状況は。本当にできるのか

A すぐには出来ないが、必ず、出来ます。後5, 6年待つてください。



3班

㊦ 国道293号線と県道小山栃木都賀線の交差点の信号の待ち時間を両道路の交通量を考慮して設定できないか。

㊦ 馴れ合いの議会になっていないか。

Q メディカルセンターしもつがの駐車場が足りないと思うが、駐車場の拡張はいつになるのか。

A 駐車台数は267台で、狭いことは病院側も承知しているが、現状のままと聞いている。

Q 防災無線の音声はどの程度まで聞こえるのか。

A 約800mである。

㊦ 公用車をパトカーのように塗装することで事故が減少したとの報道があった。栃木市でも取り入れてはどうか。

A 行政に伝える。

㊦ 西方小学校5年生の宿泊体験学習の予算が減った。子どもの個人負担が増えないようにお願いしたい。

㊦ 西方小学校北側の信号機既設置の場所で事故が多い。改善をお願いしたい。

㊦ 栃木市は管理職の人数が多すぎる。組織の見直しを早くやるべき。

Q 温泉施設は今後どうなるのか。

A 12月議会で北部健康福祉センター構想の中間内容が明らかになると思われる

